

**新日軽**  
**木製デッキ 2型**  
**組立施工マニュアル**



## ■ 販売店・工事店様へのお願い

○ 正しい施工をしていただくため当説明書をお読み下さい。



(取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負う危険性及び物的損害の発生が想定されることを示します。)

- 木製品切断時に切り粉を吸い込まないように注意してください。
- 自然木を使用しているため、表面に「けばたち」「ささくれ」等があります。ケガをしないように軍手、安全靴を使用してください。施工後、危険と判断される場合は、やすりがけ等をお願いします。
- 施工の際、躯体へのコーチスクリーや木ビスは、たたき込まずに確実にねじ込んでください。
- 踏み台になるような物の上に乗ると落下の危険が生じます。特にお子様には注意してください。
- みだりに改造、変更をしないでください。
- 天然木の性質上、樹液が出ます。木製商品の樹液が雨により流れ出し、コンクリートと化学反応し床下面等を汚す恐れがあります。木製商品の保管場所にはご注意ください。

## お願い

(特定の行為の義務付けを示します。)

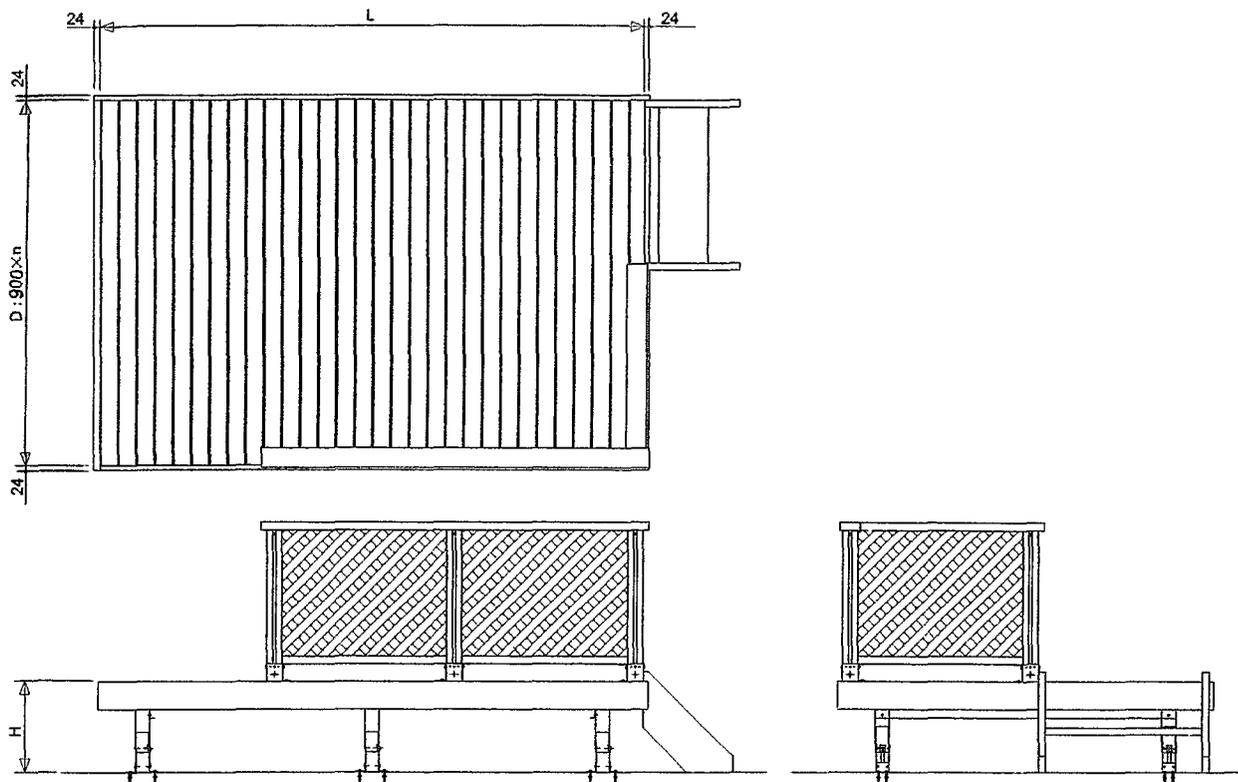
- 施工を始めてから手直しが出来ないよう、事前に調査や打ち合わせを十分に行ってください。特に設計者や工務店様と取付スペース・工程・搬入実施日・搬入場所・施工実施日等、綿密な打ち合わせをしてください。
- 製品の運搬や取付けの際は、キズをつけないように気をつけてください。
- 水平・垂直・直角は、必ず正確に出してください。正確に出ていない場合、取り付かない場合があります。また、十分な強度が出ない場合もあり、大変危険ですので注意してください。
- 取付けの際、ボルト・ネジ等は規定本数を確実に締め付け固定してください。建物に孔をあけたりネジを止めたりした場所には、確実にシーリングを施してください。

## ● アルミ製品を他建材製品と施工する上でのご注意

新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐蝕をおこし、思わぬトラブルとなりますので施工にあたっては次のような点をご注意ください。

- アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニルテープ等を貼るか塗装等で絶縁処理を行ってください。
- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に含まれた塩分が腐蝕の原因となりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面に流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性であるため、しみやムラ等の外観不良や腐蝕の原因となります。
- モルタルやコンクリートの凝結剤は腐蝕の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は、速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐蝕しやすくなりますので取扱いに十分注意してください。
- 腐蝕の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

# 規格寸法図



## ◎ 間口 : L × 出巾 : D

### 横張り

間口 (L)	出巾 (D)	
	1.0間 (1800)	3尺
	6尺	1828
	9尺	2674
	12尺	3520
1.5間 (2700)	3尺	841
	6尺	1828
	9尺	2674
	12尺	3520
2.0間 (3600)	3尺	841
	6尺	1828
	9尺	2674
	12尺	3520

### 縦張り

間口 (L)	出巾 (D)	
	1.0間 (1828)	3尺
6尺		1800
9尺		2700
12尺		3600
1.5間 (2674)	3尺	900
	6尺	1800
	9尺	2700
	12尺	3600
2.0間 (3520)	3尺	900
	6尺	1800
	9尺	2700
	12尺	3600

## ◎ 高さ : H

奥行	標準柱仕様	長柱仕様
H	450 ± 50	700 ± 50

# 規格表

名 称		梱 包 内 容	
根太	1.0間	根太 L=1800 (90×60) : 1	
	1.5間	根太 L=2700 (90×60) : 1	
束柱	標準柱	2本入り	束柱 L=354 : 2、セット部品 : 1
		3本入り	束柱 L=354 : 3、セット部品 : 1
	長柱	2本入り	束柱 L=654 : 2、セット部品 : 1
		3本入り	束柱 L=654 : 3、セット部品 : 1
デッキ材	1.0間	2本入り	デッキ材 L=1800 (136×24) : 2
	1.0間	3本入り	デッキ材 L=1800 (136×24) : 3
	1.5間	2本入り	デッキ材 L=2700 (136×24) : 2
	デッキ材取付ビスセット		ビスセット (皿木ネジL=50) 300本
根がらみ	0.5間	根がらみ L=890 : 2、セット部品 (組立施工マニュアル入り) : 1	
	1.0間	根がらみ L=1790 : 2、セット部品 (組立施工マニュアル入り) : 1	
	1.5間	根がらみ L=2690 : 2、セット部品 (組立施工マニュアル入り) : 1	
	2.0間	根がらみ L=3590 : 2、セット部品 (組立施工マニュアル入り) : 1	
鼻隠し	1.0間	鼻隠し材 L=1850 (136×24) : 1	
	1.5間	鼻隠し材 L=2750 (136×24) : 1	
階段	階段材	階段材 L=1800 (230×33) : 2	
	階段部品	階段部品	
柱	H=800	柱 H=760 (75×75) : 1	
	H=1100	柱 H=1060 (75×75) : 1	
	H=2300	柱 H=2300 (75×75) : 1	
	中間柱部品	中間柱部品、ボルト・ビスセット	
	端柱部品	端柱部品、ボルト・ビスセット	
	隅柱部品	隅柱部品、ボルト・ビスセット	
	パーゴラ柱部品	パーゴラ柱部品、ボルト・ビスセット	
笠木	H=1500	笠木 L=1500 (100×40) : 1	
	H=2000	笠木 L=2000 (100×40) : 1	
	H=2800	笠木 L=2800 (100×40) : 1	
パネル棧	900タイプ	パネル棧 L=825 (69×40) : 1	
	1200タイプ	パネル棧 L=1125 (69×40) : 1	
ラチスパネル	0908タイプ	ラチスパネル 840 × 653 : 1	
	0911タイプ	ラチスパネル 840 × 953 : 1	
	0918タイプ	ラチスパネル 840 × 1635 : 1	
	1208タイプ	ラチスパネル 1140 × 653 : 1	
	1211タイプ	ラチスパネル 1140 × 953 : 1	
パーゴラ	L=1500	パーゴラ材 L=1500(100×24) : 5	
	L=1800	パーゴラ材 L=1800(100×24) : 5	
	パーゴラ用部品(片持ち型)	パーゴラ固定部品 格子金物 : 5、受け金物 : 5、ビスセット	
	パーゴラ用部品(隠ぺい型)	パーゴラ固定部品 格子金物 : 10、ビスセット	
点検口部品		ビスセット	

# ■ 束柱の位置 (デッキ材よこ張り 単体、連棟)

	間口 1.0間	間口 1.5間	間口 2.0間
出巾 3 尺	板横張り6枚 	板横張り6枚 	板横張り6枚 
出巾 6 尺	板横張り13枚 	板横張り13枚 	板横張り13枚 
出巾 9 尺	板横張り19枚 	板横張り19枚 	板横張り19枚 
出巾 12 尺	板横張り25枚 	板横張り25枚 	板横張り25枚 
	間口 2.5間	間口 3.0間	
出巾 3 尺	板横張り6枚 	板横張り6枚 	
出巾 6 尺	板横張り13枚 	板横張り13枚 	
出巾 9 尺	板横張り19枚 	板横張り19枚 	
出巾 12 尺	板横張り25枚 	板横張り25枚 	

\*注) 上図割付寸法は、板目地巾5mmで、鼻隠しの板巾は、含んでいません。

# 東柱の位置 (デッキ材たて張り 単体、連棟)

	間口 1.0間	間口 1.5間	間口 2.0間
出巾 3尺	板継張り13枚 1828 200 1428 200 900 200 500 200	板継張り19枚 2674 200 1137 1137 200 900 200 500 200	板継張り25枚 3520 200 1560 1560 200 900 200 500 200
出巾 6尺	板継張り13枚 1828 200 1428 200 1800 200 700 700 200	板継張り19枚 2674 200 1137 1137 200 1800 200 700 700 200	板継張り25枚 3520 200 1560 1560 200 1800 200 700 700 200
出巾 9尺	板継張り13枚 1828 200 1428 200 2700 200 700 900 700 200	板継張り19枚 2674 200 1137 1137 200 2700 200 700 900 700 200	板継張り25枚 3520 200 1560 1560 200 2700 200 700 900 700 200
出巾 12尺	板継張り13枚 1828 200 1428 200 3600 200 700 900 700 200	板継張り19枚 2674 200 1137 1137 200 3600 200 700 900 700 200	板継張り25枚 3520 200 1560 1560 200 3600 200 700 900 700 200
	間口 2.5間	間口 3.0間	
出巾 3尺	板継張り32枚 1800 2707 200 1600 1257 1250 200 900 200 500 200	板継張り38枚 2676.5 2676.5 176.5 1250 1250 1250 1250 176.5 900 200 500 200	
出巾 6尺	板継張り32枚 1800 2707 200 1600 1257 1250 200 1800 200 700 700 200	板継張り38枚 2676.5 2676.5 176.5 1250 1250 1250 1250 176.5 1800 200 700 700 200	
出巾 9尺	板継張り32枚 1800 2707 200 1600 1257 1250 200 2700 200 700 900 700 200	板継張り38枚 2676.5 2676.5 176.5 1250 1250 1250 1250 176.5 2700 200 700 900 700 200	
出巾 12尺	板継張り32枚 1800 2707 200 1600 1257 1250 200 3600 200 700 900 700 200	板継張り38枚 2676.5 2676.5 176.5 1250 1250 1250 1250 176.5 3600 200 700 900 700 200	

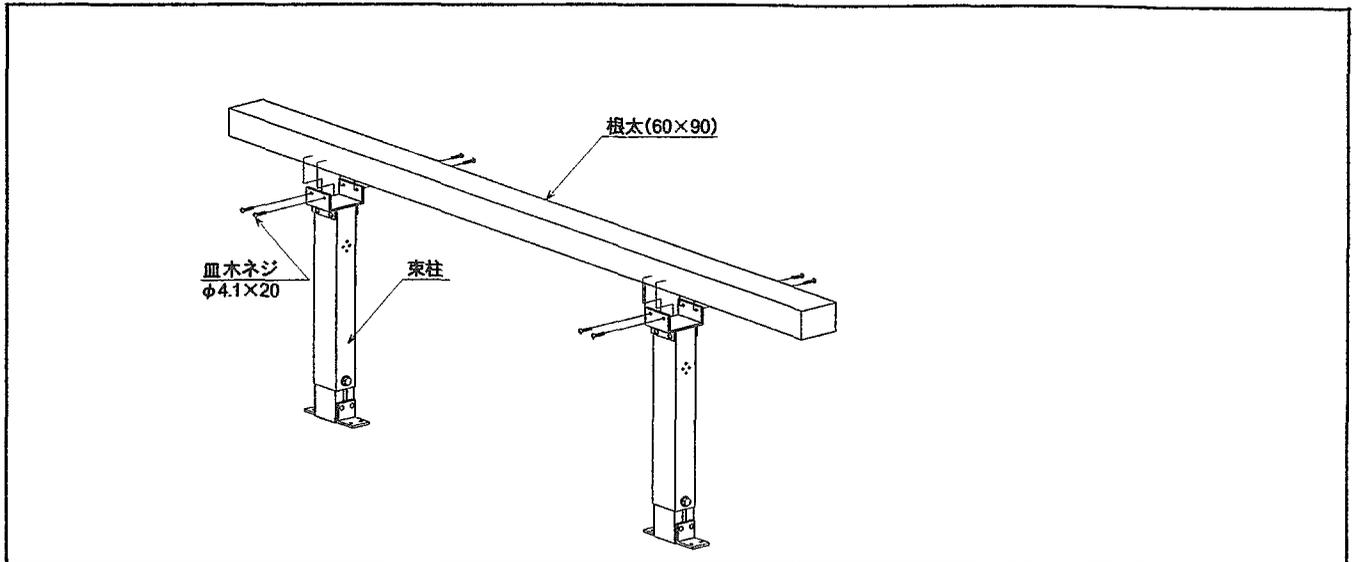
\*注) 上図割付寸法は、板目地巾5mmで、鼻隠しの板巾は、含んでいません。

# 組立手順

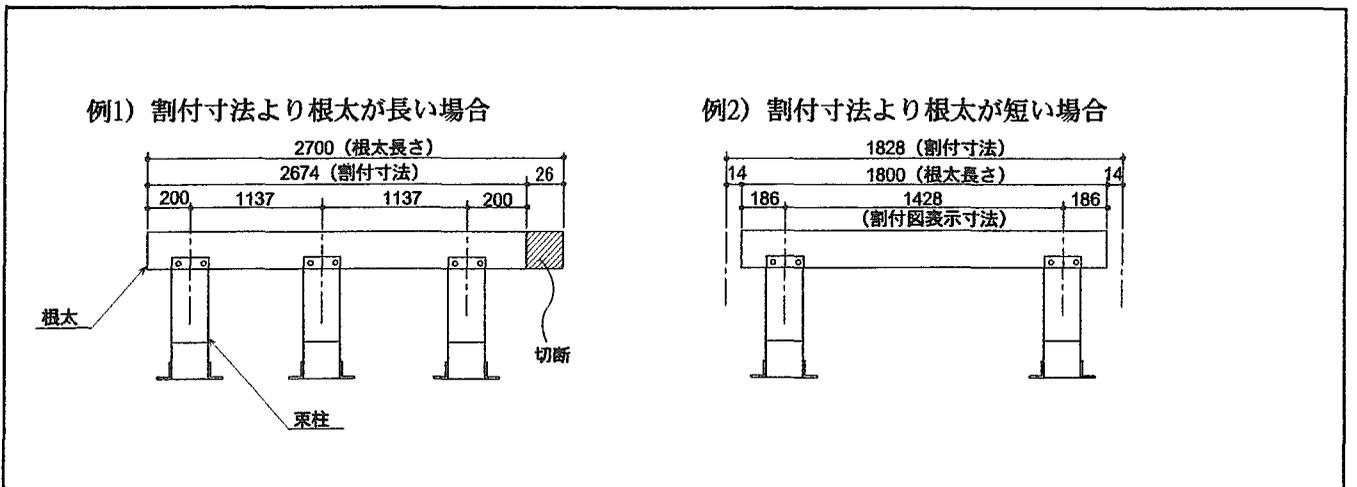
## 1) 束柱・根太・根がらみの取付け

### 1) 束柱・根太の取付

ページ4~5までの割付図を参照して根太と束柱を組立てください。

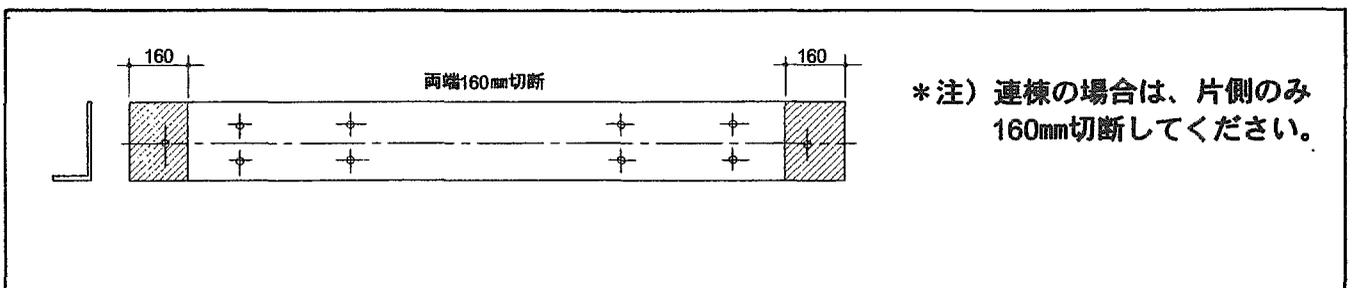


\*注) 根太の長さは割付寸法と多少異なる場合があります。  
下記の例を参照して、組立てください。

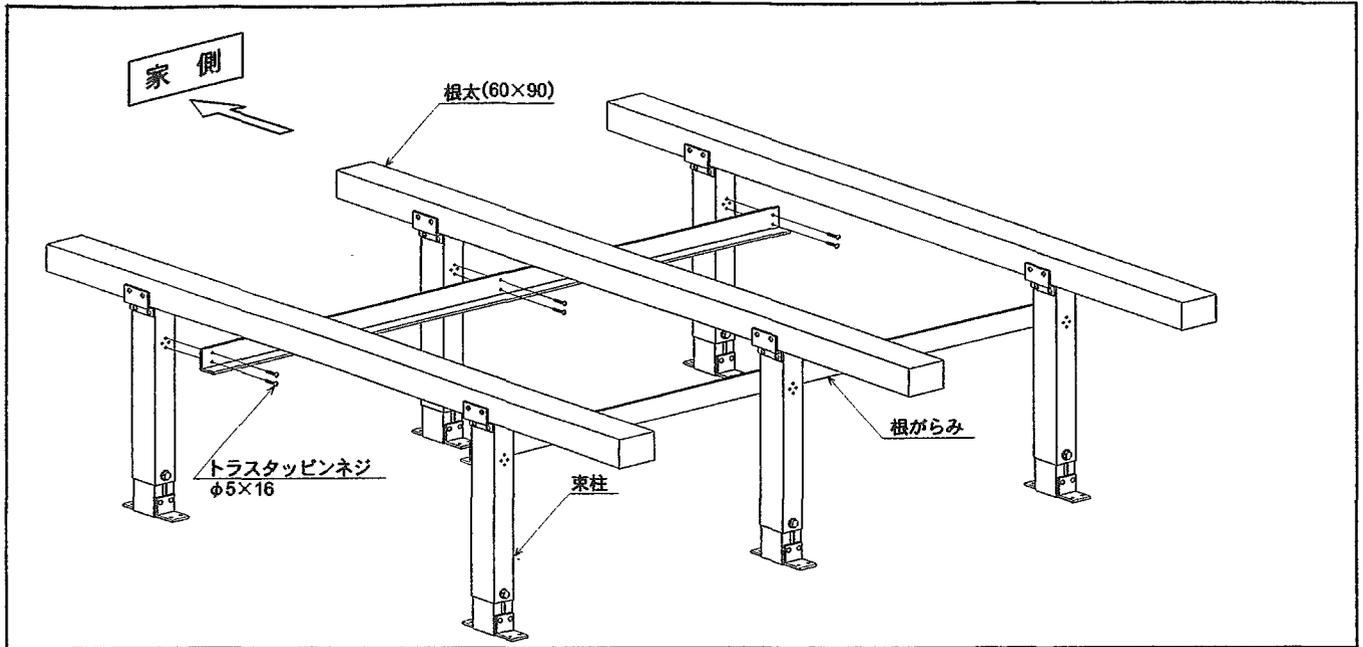


### 2) 根がらみの取付

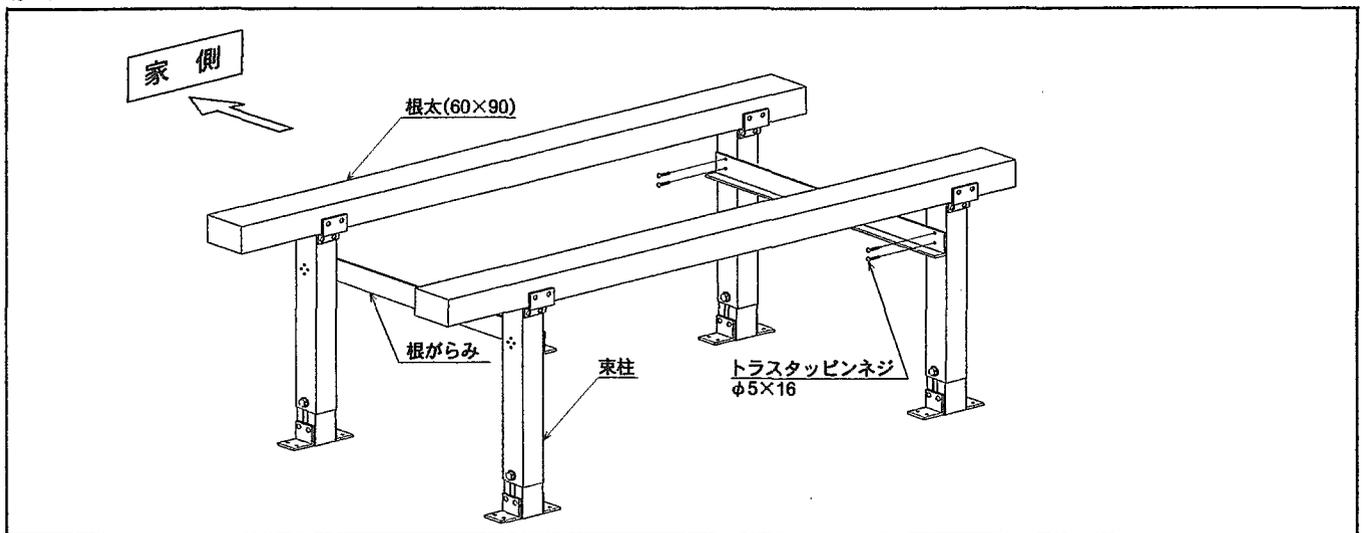
根がらみは、連棟を考慮した部材長さになっているため、下図の加工図を参考に切断を行ってください。  
次に全体の左右(連棟する場合は連棟部にも)の束柱へφ5×16トラスで取付けをしてください。



〈デッキ材よこ張り〉

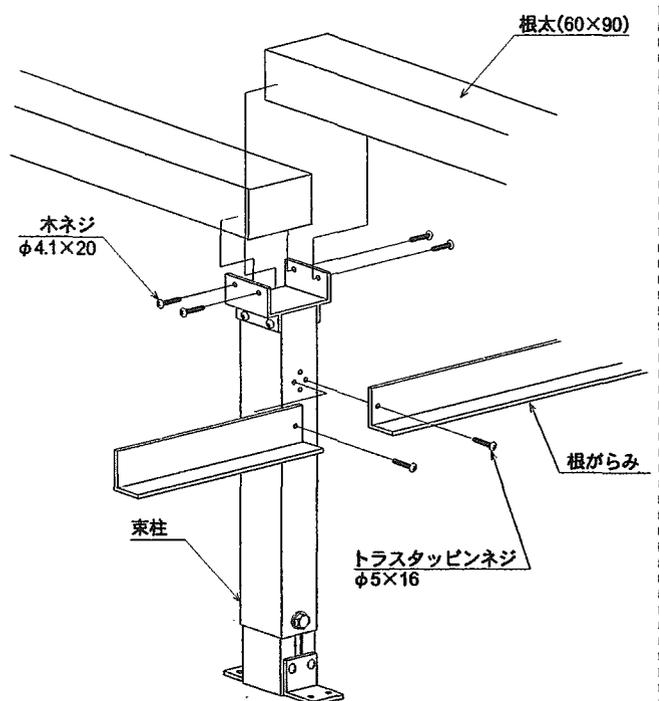
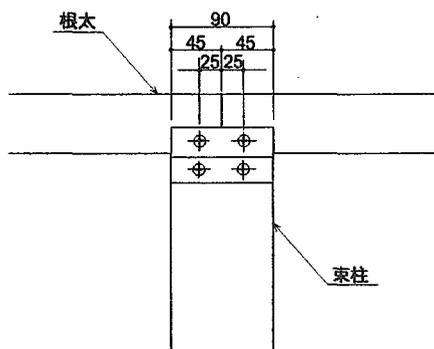


〈デッキ材たて張り〉



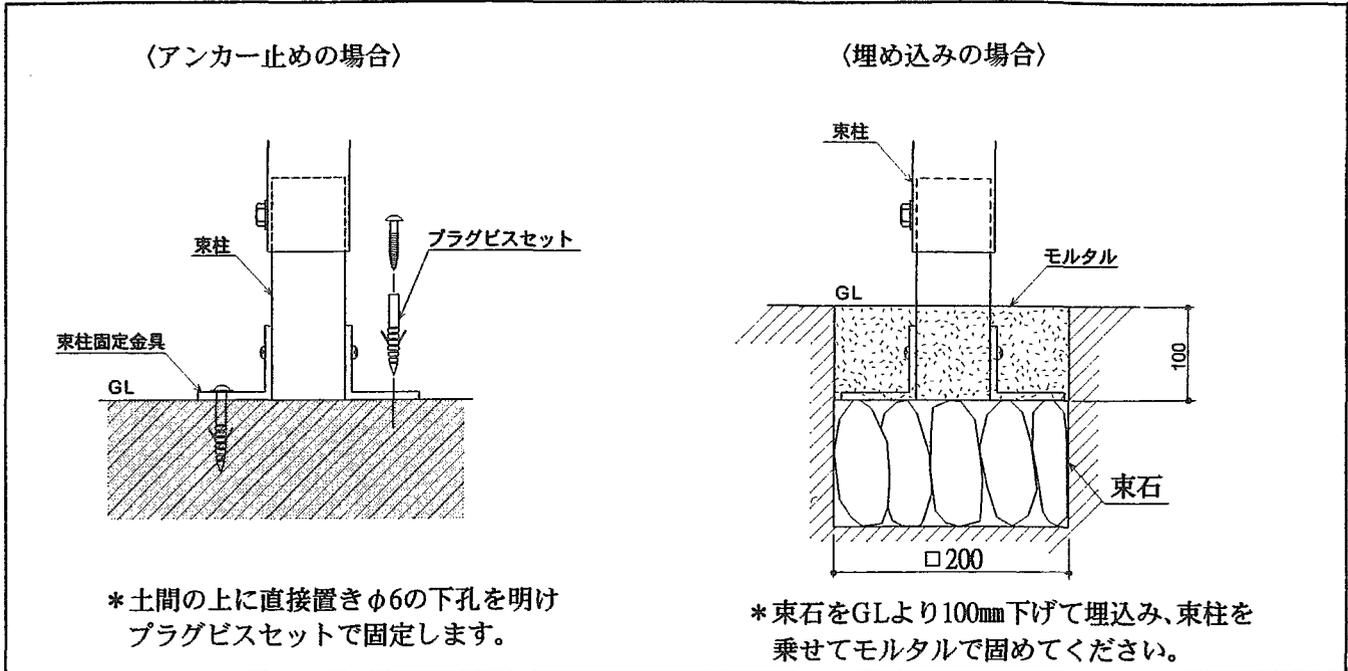
根太・根がらみの連結

- 根太は束柱のまん中で連結するようにしてください。
- \*注) 連棟の場合は、根太の連結部に束柱がきます。ページ4～5を参照して束柱の立つ位置に注意してください。根太の切断加工が発生する場合は前ページを参照してください。



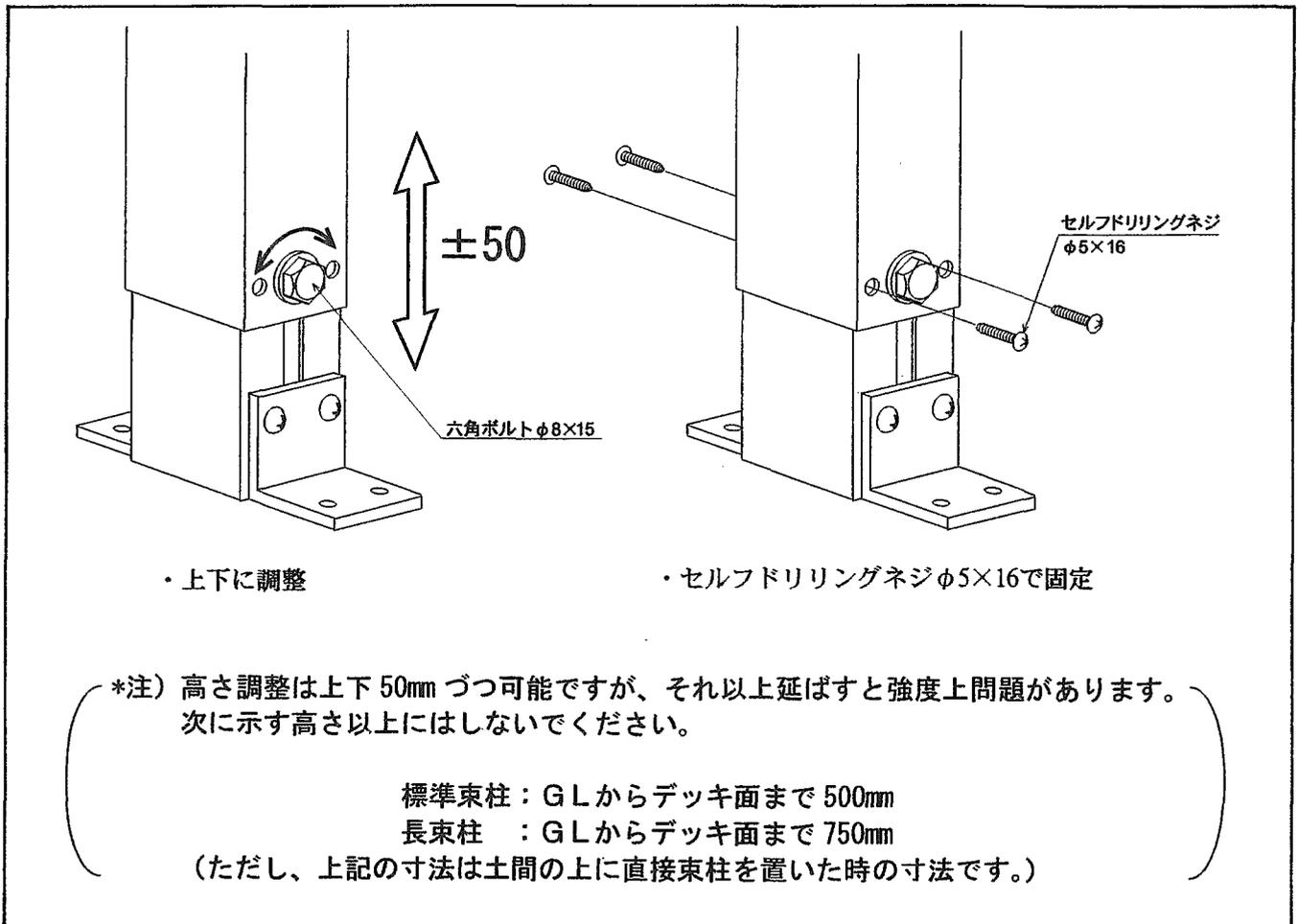
## 2 束柱の固定

1) 現場の状況に合った取付方法で束柱を固定してください。



### 2) 束柱の高さ調整

束柱を固定してから高さ調整が必要な場合は、六角ボルトM8×15をゆるめ高さを調整してください。高さが決まれば、六角ボルトを本締めし、セルフドリリングネジφ5×16で固定してください。



### 3 デッキ材の取付

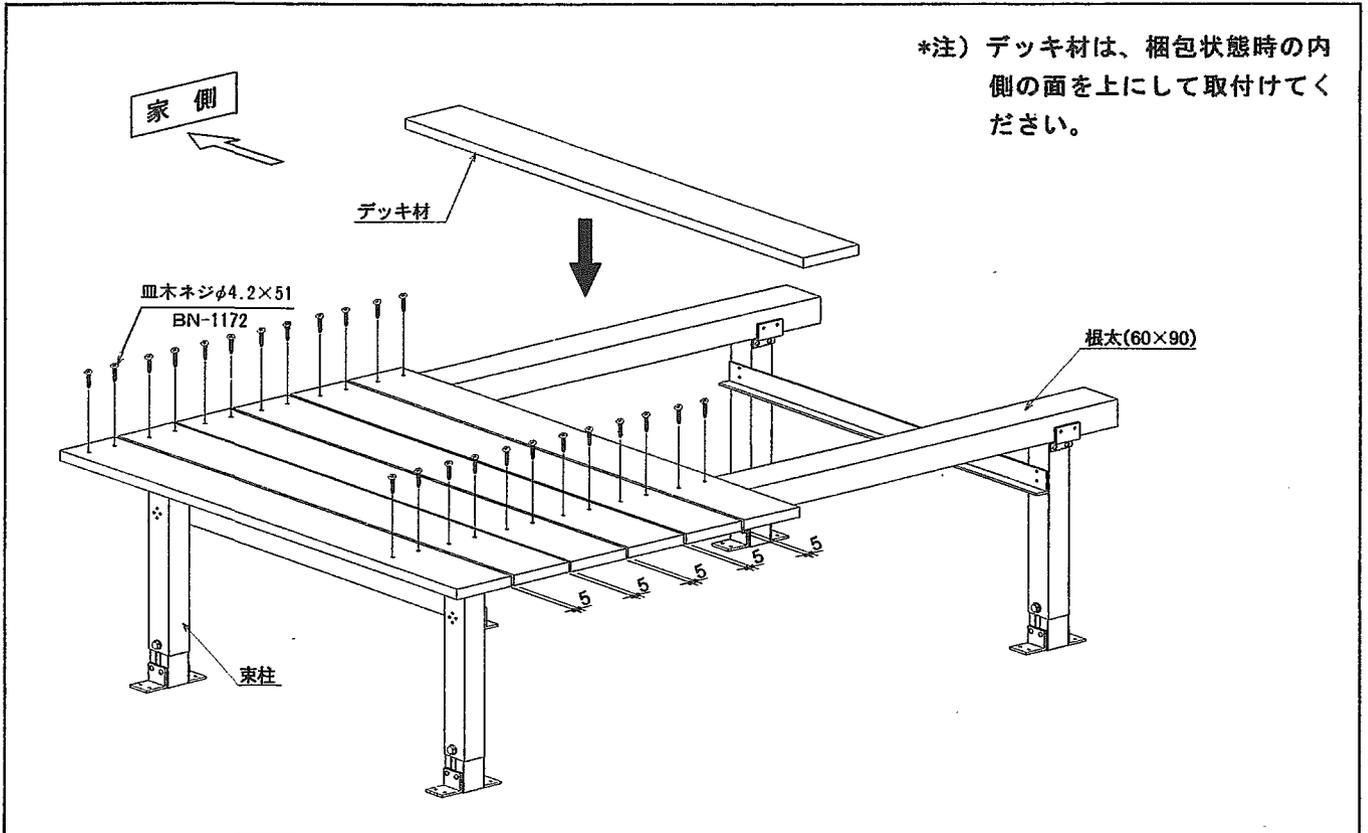
#### 1) デッキ材の取付

デッキ材を敷き詰め、皿木ネジφ4.2×51で根太に取付けます。デッキ材の目地幅は5mmとしてください。木ネジ止めは、根太のある箇所すべてに行ってください。取付に際して目地幅は、スペーサーなどを利用して、等間隔にて施工してください。

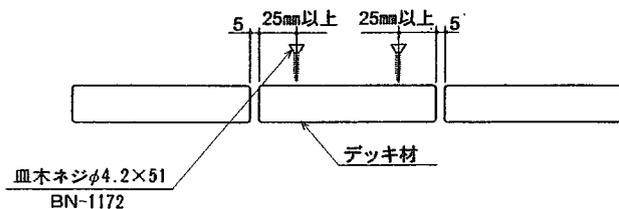
\*注) デッキ材は、出巾や間口巾によって切断する必要があります。

\*注) デッキ材には必ず、φ4下孔をあけてください。またビス止めすることにより、デッキ材がささくれだつようでしたら、ヤスリをかけてください。

\*注) 根太には下孔をあけないでください。デッキ材のそり等の原因になります。



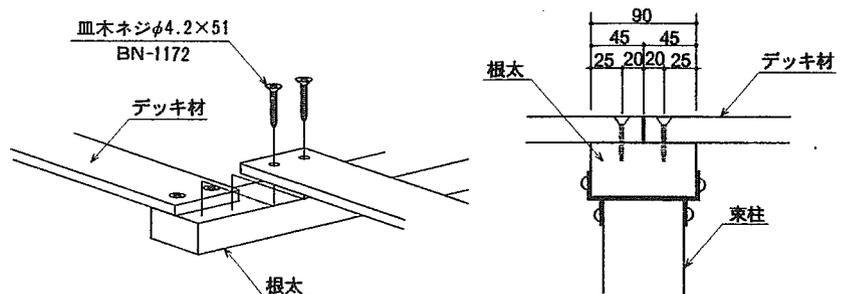
\*注) デッキ材にねじ込む皿木ネジは、木材端部より25mmほど離して施工してください。



#### 〈デッキ材の連結〉

デッキ材の連結は必ず根太のまん中で行うようにしてください。

デッキ材には、φ4の下孔を明け右図のように皿木ネジφ4.2×51で取付けてください。



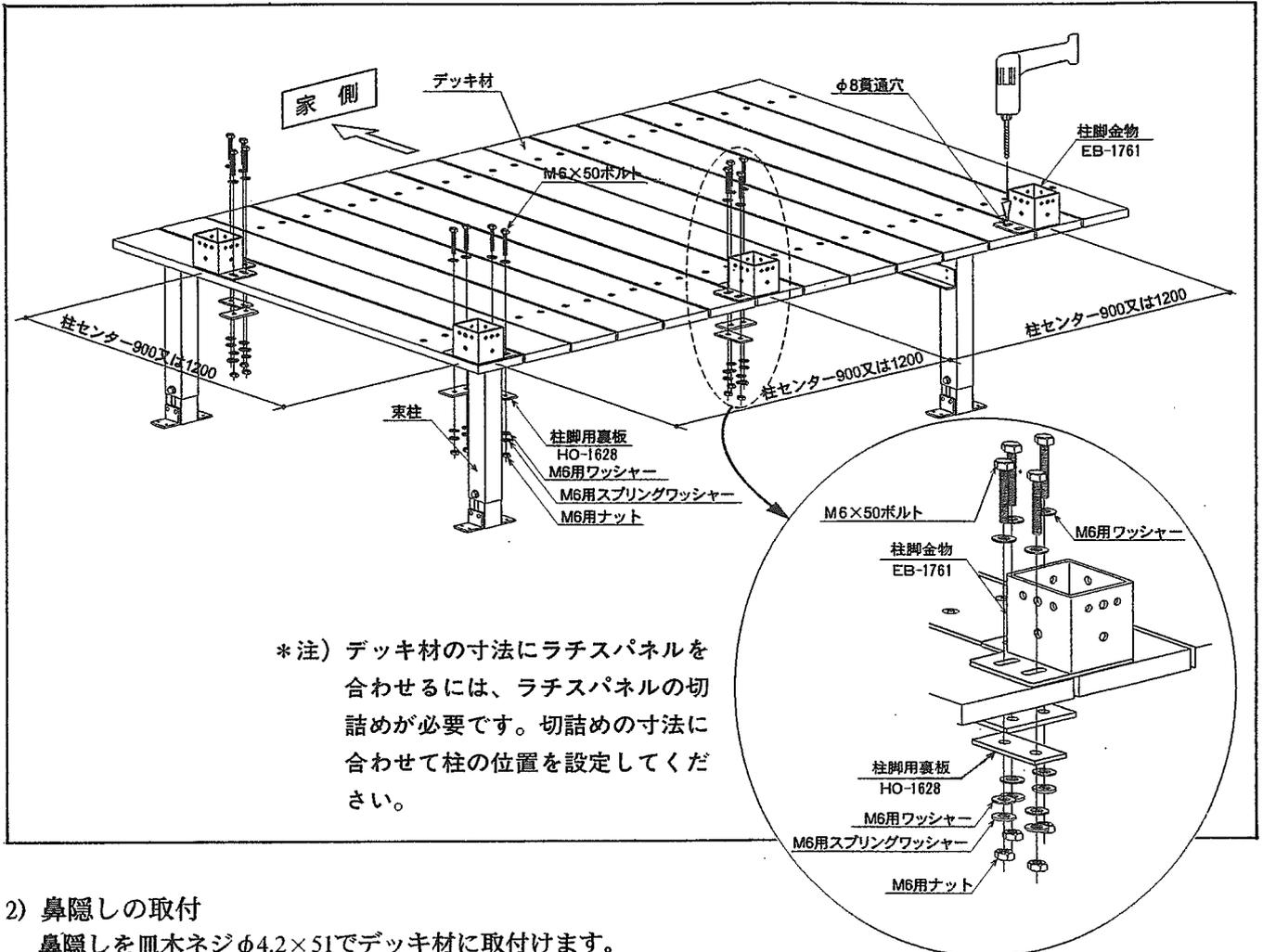
※手摺パネル・ハイパーテーション・パーゴラ等を取付けない場合は [4]-2)の『鼻隠し』の取付へ進んでください。

## 4 柱脚金具・鼻隠しの取付

### 1) 柱脚金具の取付

柱センター間で900mmと1200mmの手摺パネルがあります。

拾い出したパネル寸法の位置に金物を取付けてください。デッキ材にφ8の貫通穴を明け柱脚金物を、ボルトM6×50にて固定します。

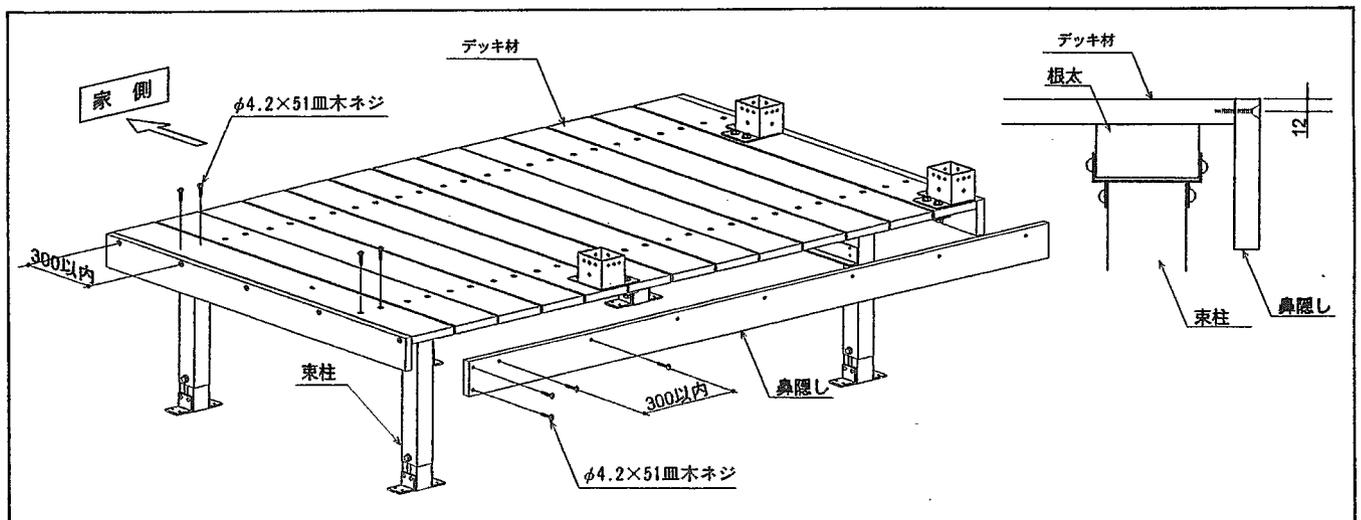


### 2) 鼻隠しの取付

鼻隠しを皿木ネジφ4.2×51でデッキ材を取付けます。

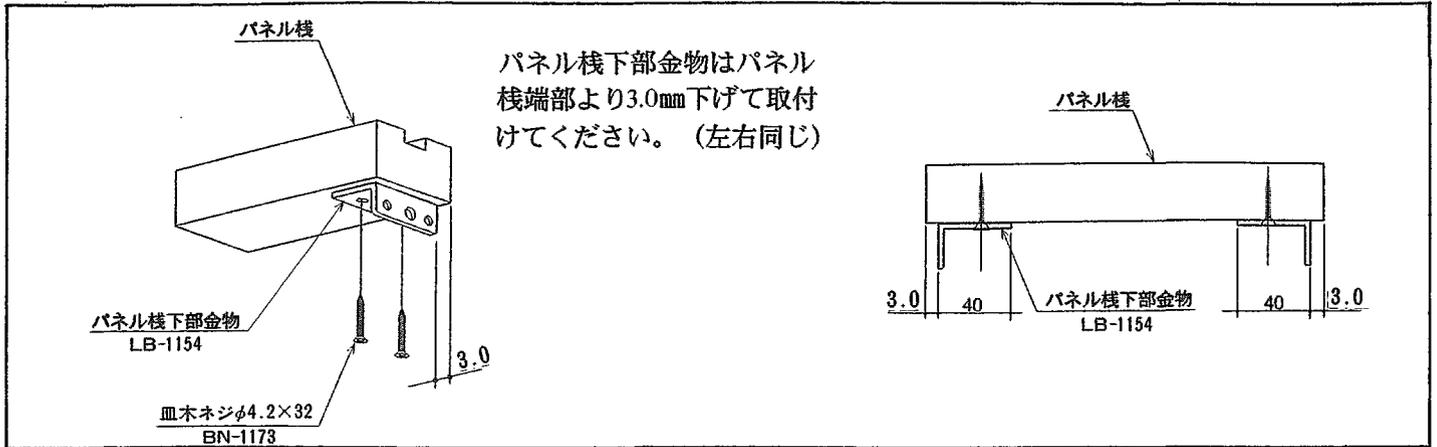
鼻隠しのコーナー部は鼻隠しどうしでたてに2本皿木ネジで固定してください。

\*注) 鼻隠しには必ずφ4の下孔を明けてください。木ネジはピッチ300mm以内で施工願います。

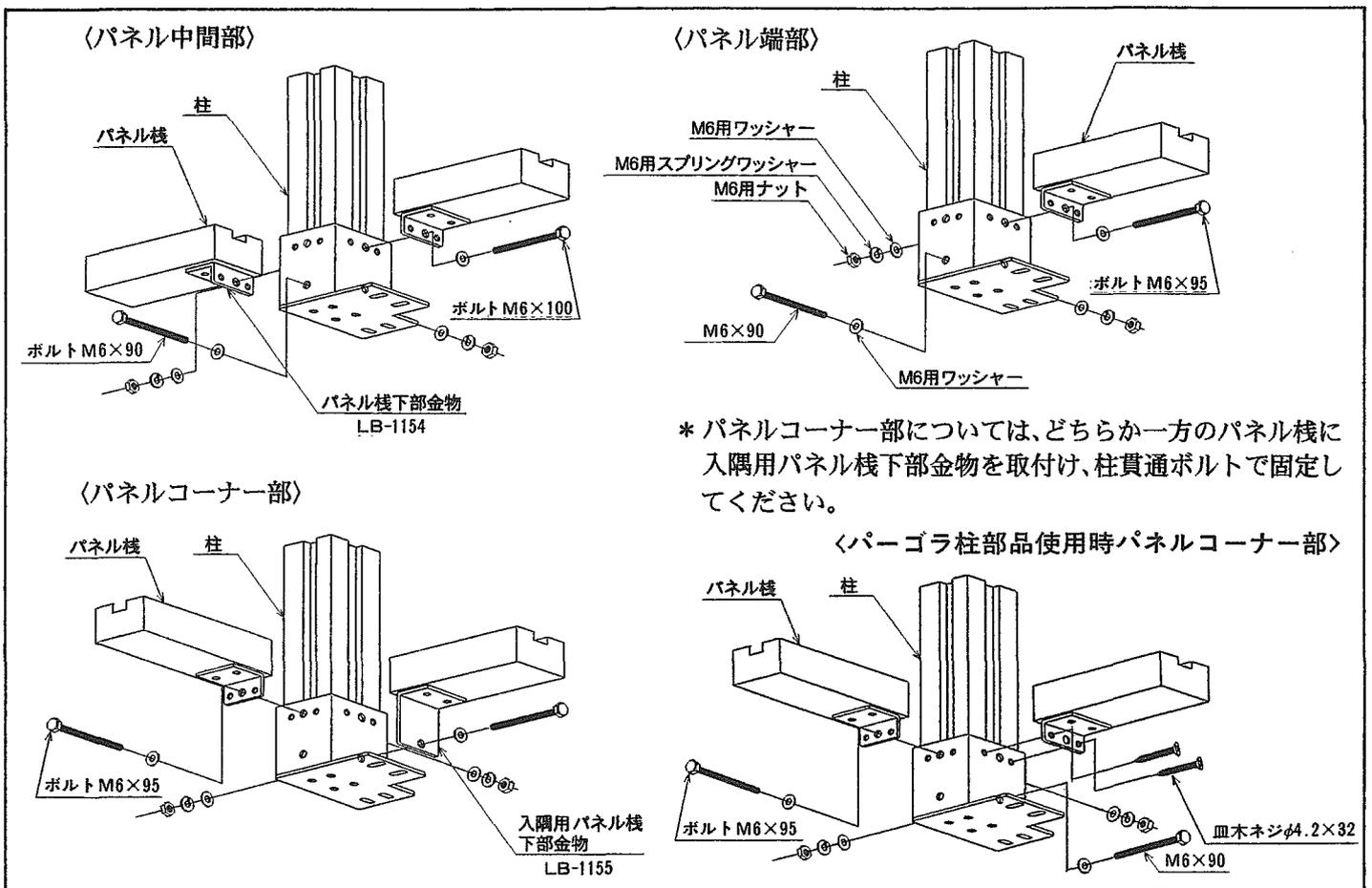


## 5 柱・下パネル機の取付

### 1) パネル機下部金物取付

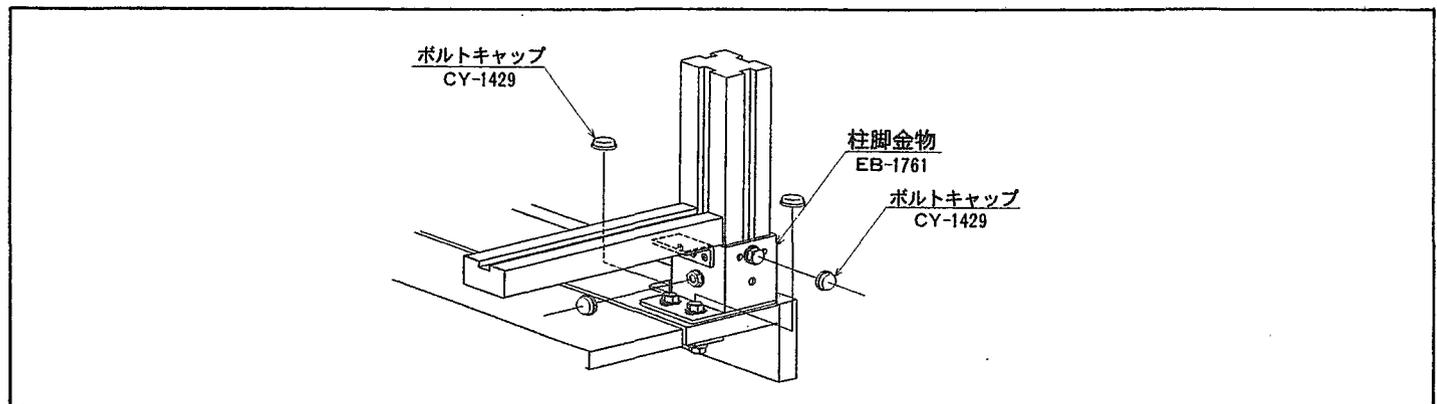


### 2) 柱とパネル機の固定



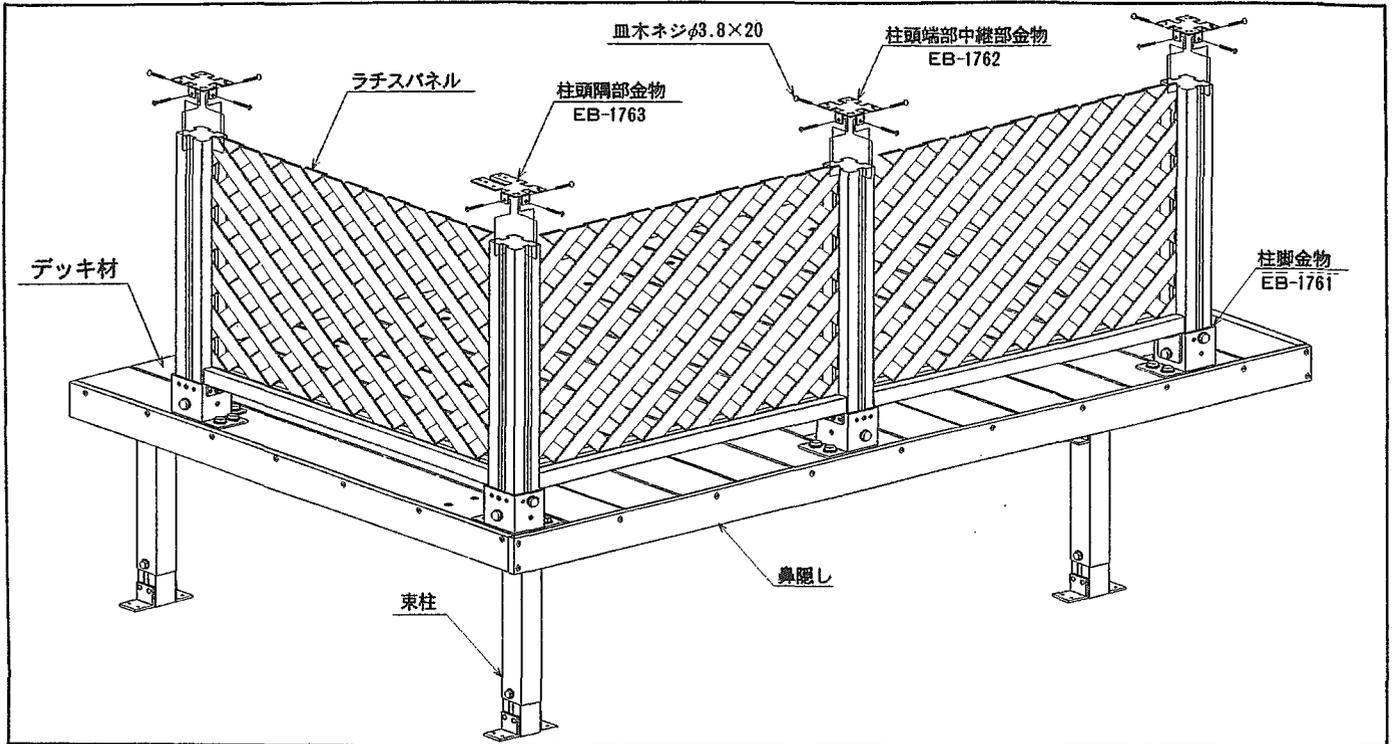
### 3) ボルトキャップの取付

デッキ下以外のすべてのボルト及びナット頭にボルトキャップを取付けてください。



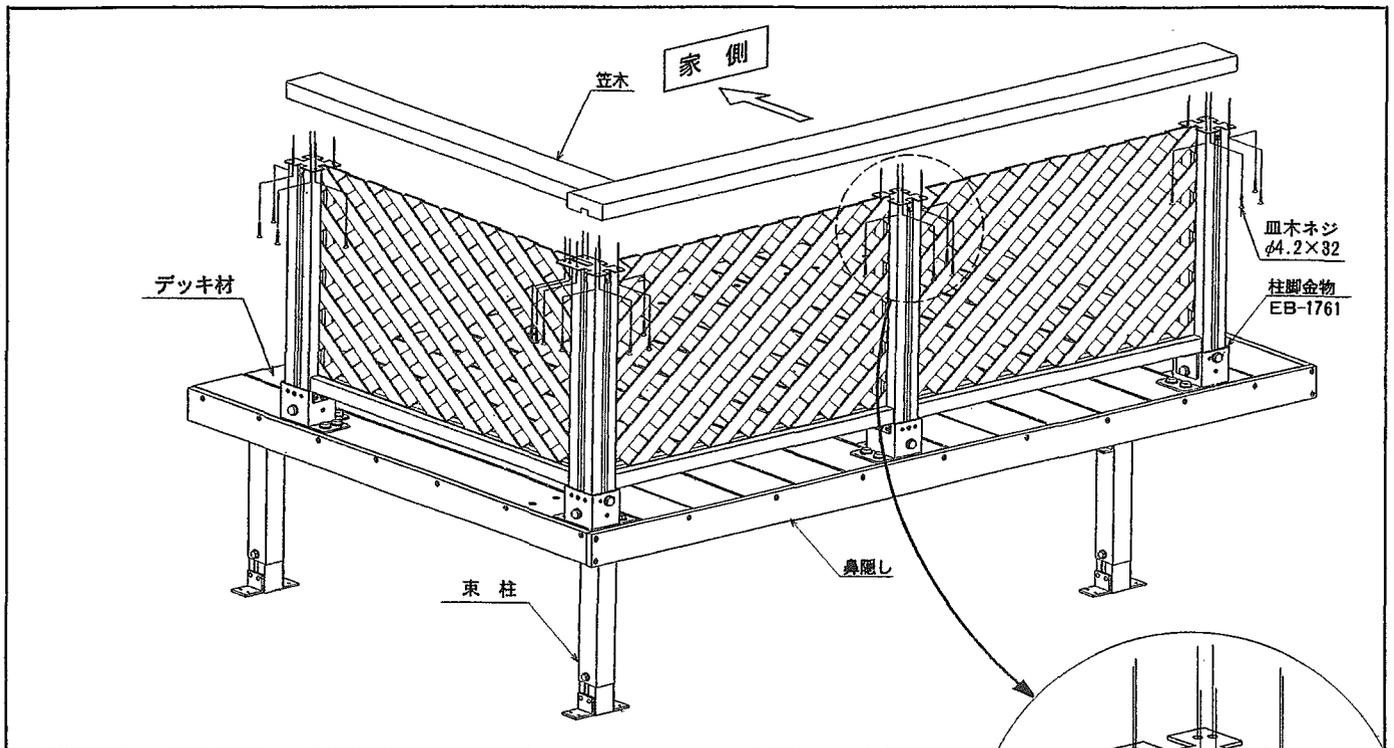
## 6 フェンスパネル・柱頭端部・中継部・隅部金物・笠木の取付

1) ラチスパネルをはめ込み、柱頭端部・中継部・隅部金物を皿木ネジφ3.8×20で固定します。



2) 笠木を木皿ネジφ4.2×32で固定します。

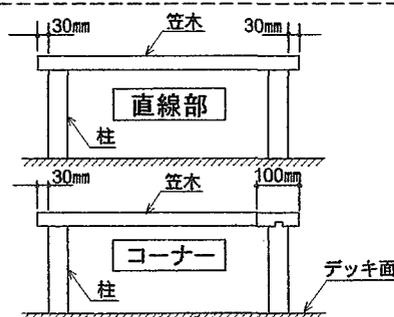
笠木は下図を参照のうえ切断してご使用ください。また端部・コーナー部は、柱より30mm出るように切断してください。



### 〈笠木の切断長さ〉

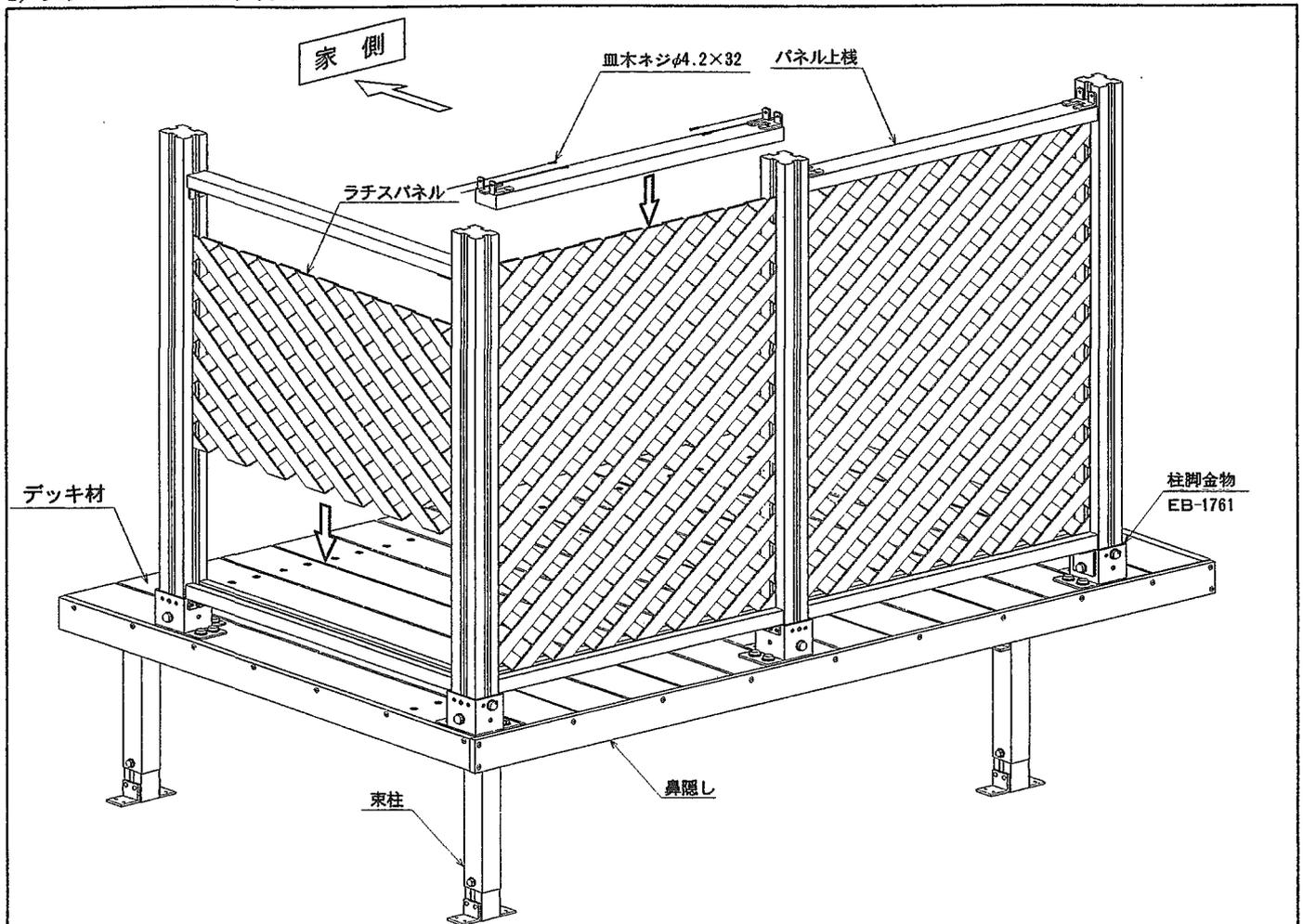
笠木は、柱端部より30mm出るように切断してください。  
コーナー部は、図のようにどちらか一方を延ばし、もう一方を笠木のサイドにつきあててください。

\*注) 笠木の連結は柱のセンターで行うようにしてください。



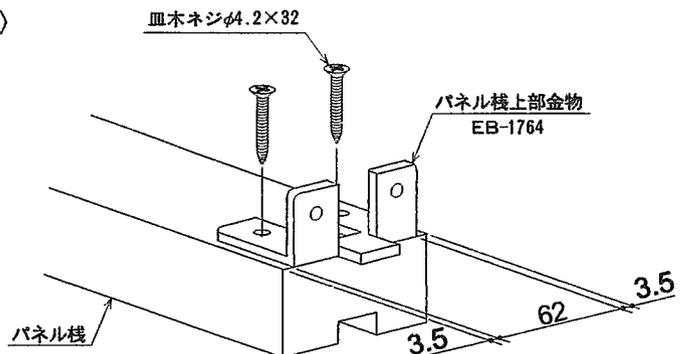
## 7 ハイパーテーションの取付

1) ラチスパネルを取付け、その上にパネル上棧を取付けてください。

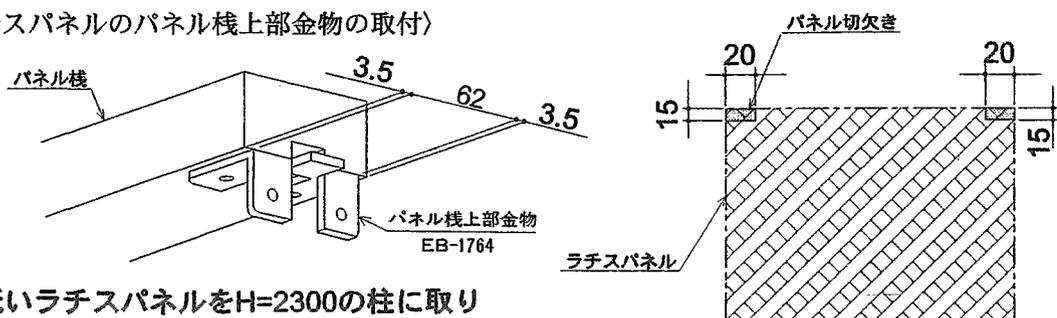


### 〈高いラチスパネルのパネル上棧上部金物の取付〉

・パネル上棧上部金物は、右図のようにパネル上棧端部と同面に皿木ネジφ4.2×32で取付けてください。



### 〈低いラチスパネルのパネル上棧上部金物の取付〉

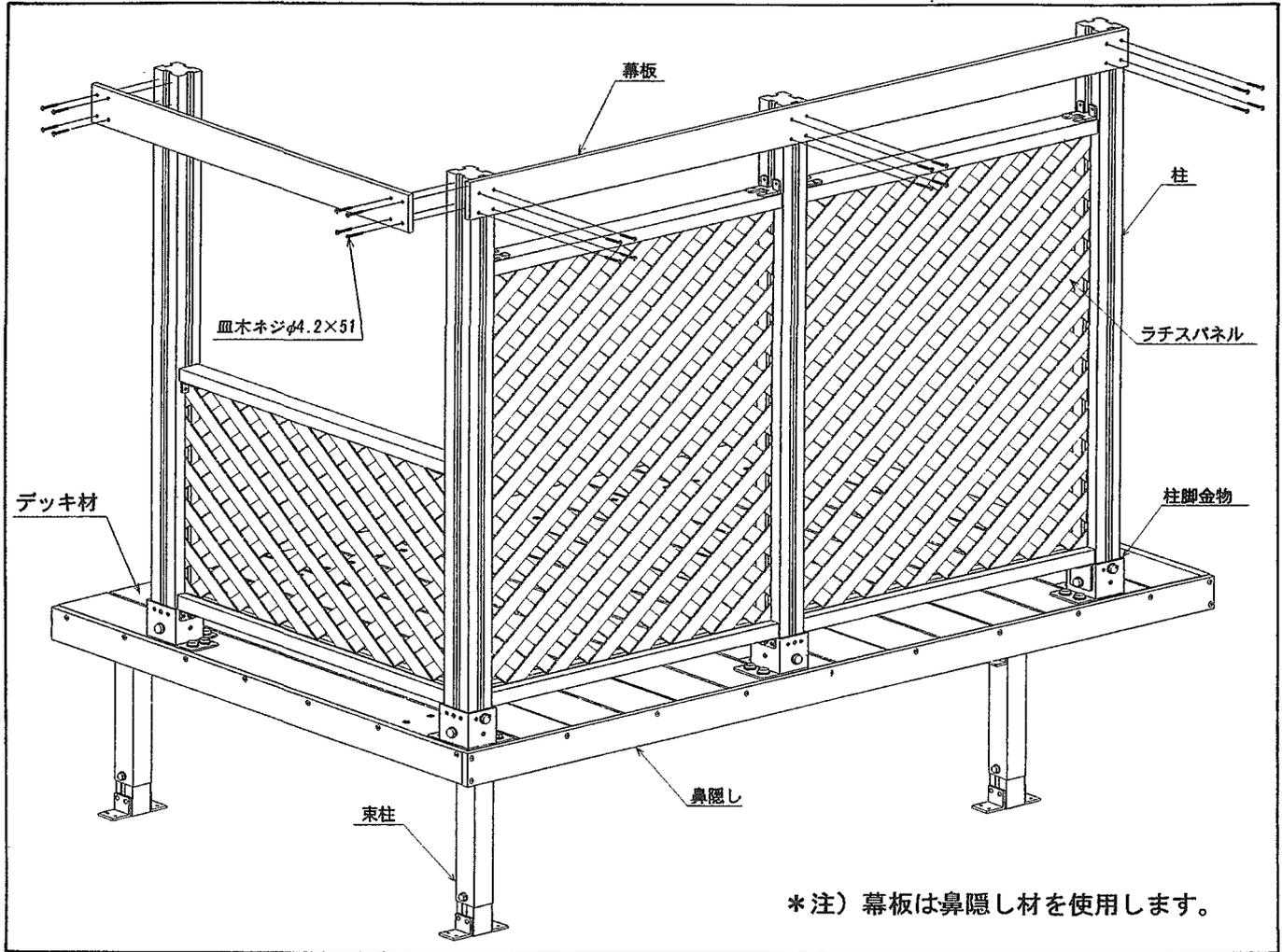


\*注) 低いラチスパネルをH=2300の柱に取り付ける時は、ラチスパネルに右図のような加工が必要です。

## 2) 幕板の取付

幕板(鼻隠し材)を柱に皿木ネジφ4.2×51で取付けてください。

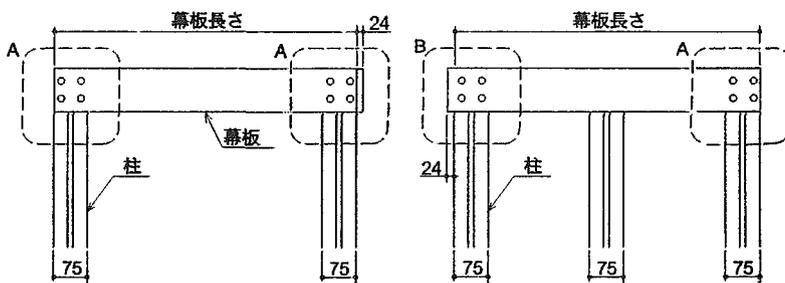
幕板にはφ4の下孔を柱に取付ける前に明けてください。また、幕板の切断寸法は、下図を参照してください



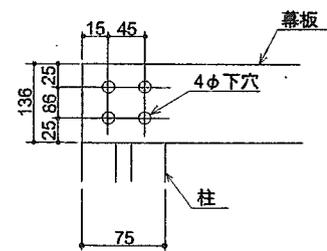
\*注) 幕板は鼻隠し材を使用します。

### 〈幕板の切断長さ及び穴明け位置〉

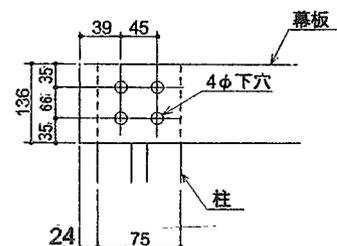
幕板は、柱のピッチに合わせて柱の端部で切断してください。コーナー部は一方を幕板の厚さ分(24mm)柱端部より出して切断してください。



### A部詳細



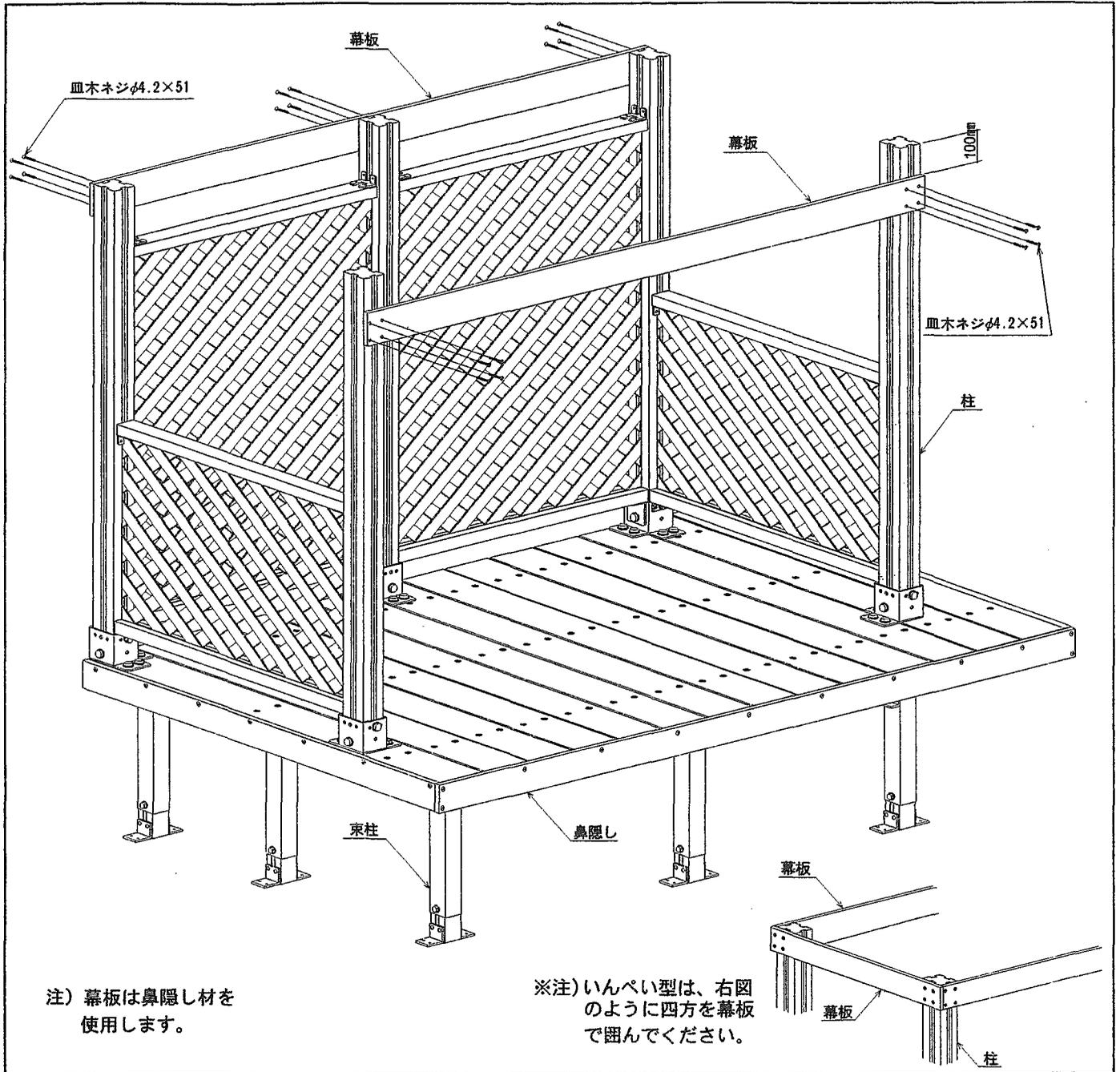
### B部詳細(コーナー部)



\*注) コーナー部の片側の幕板のみ穴位置が異なります。

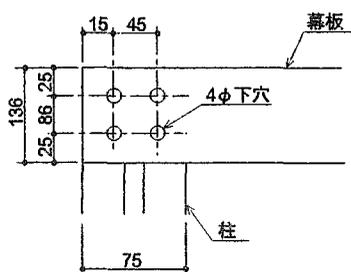
## 8 パーゴラの取付

- 1) 下図のようにハイパーテーションの取付における[7]-1)までの作業を行ってください。また、高低ラチスパネルの構成は拾い出し時のものに従ってください。  
 パーゴラ材を受けるための幕板を取り付けてください。幕板にはφ4の下孔を明けてください。

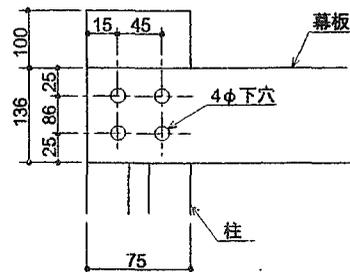


### 〈幕板の切断長さ及び穴明け位置〉

- ・幕板は、柱のピッチに合わせて柱の端部で切断してください。



- ・パーゴラ材が幕板上部を通る側は柱上端部より100mm下げて幕板を取付けてください。

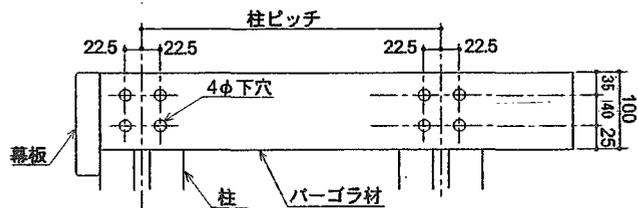
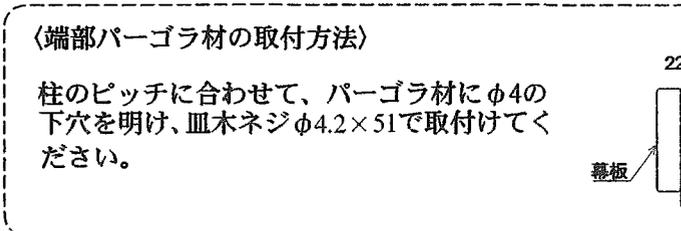
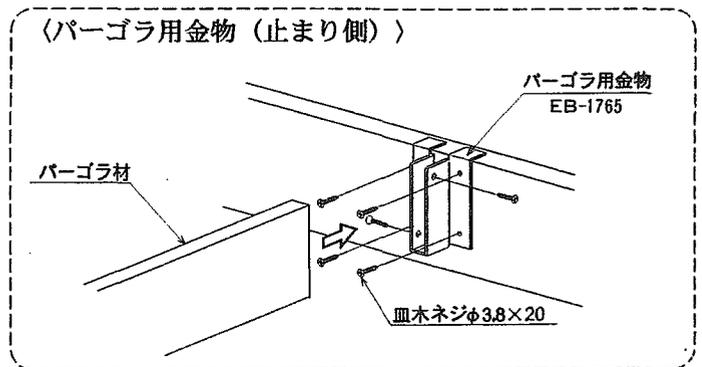
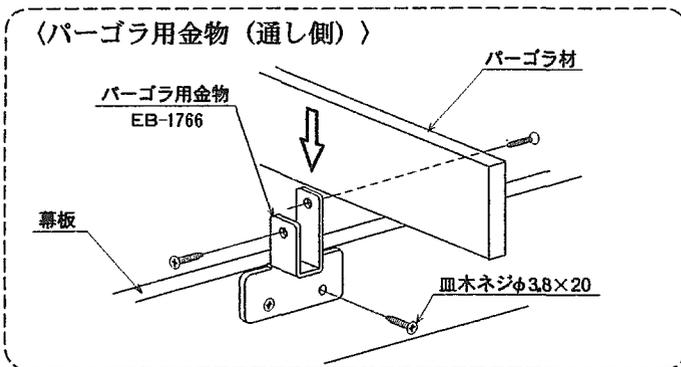
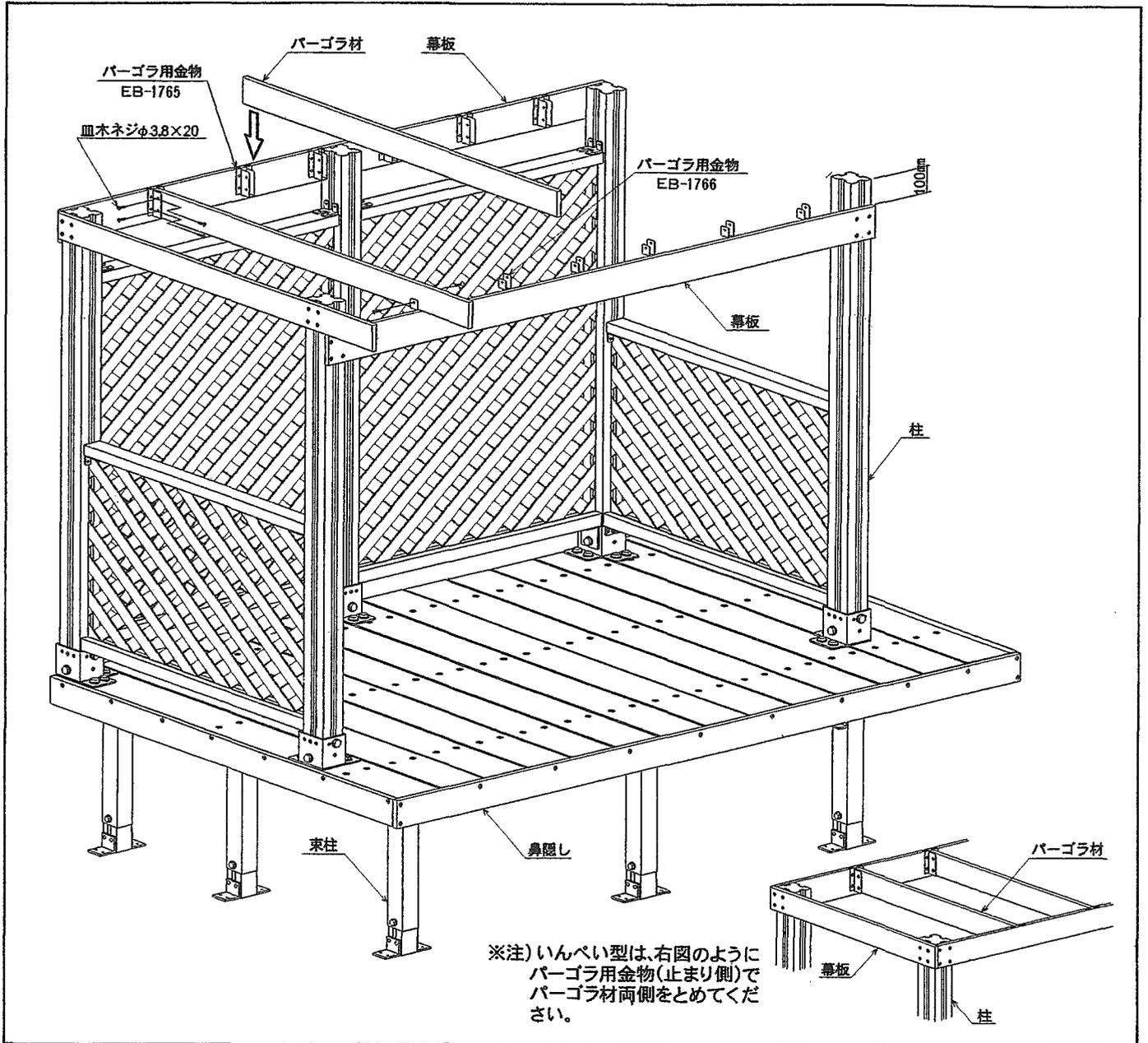


## 2) パーゴラ用金物とパーゴラ材の取付

パーゴラ用金物を幕板に皿木ネジφ3.8×20で取付け、パーゴラ材を取付けてください。

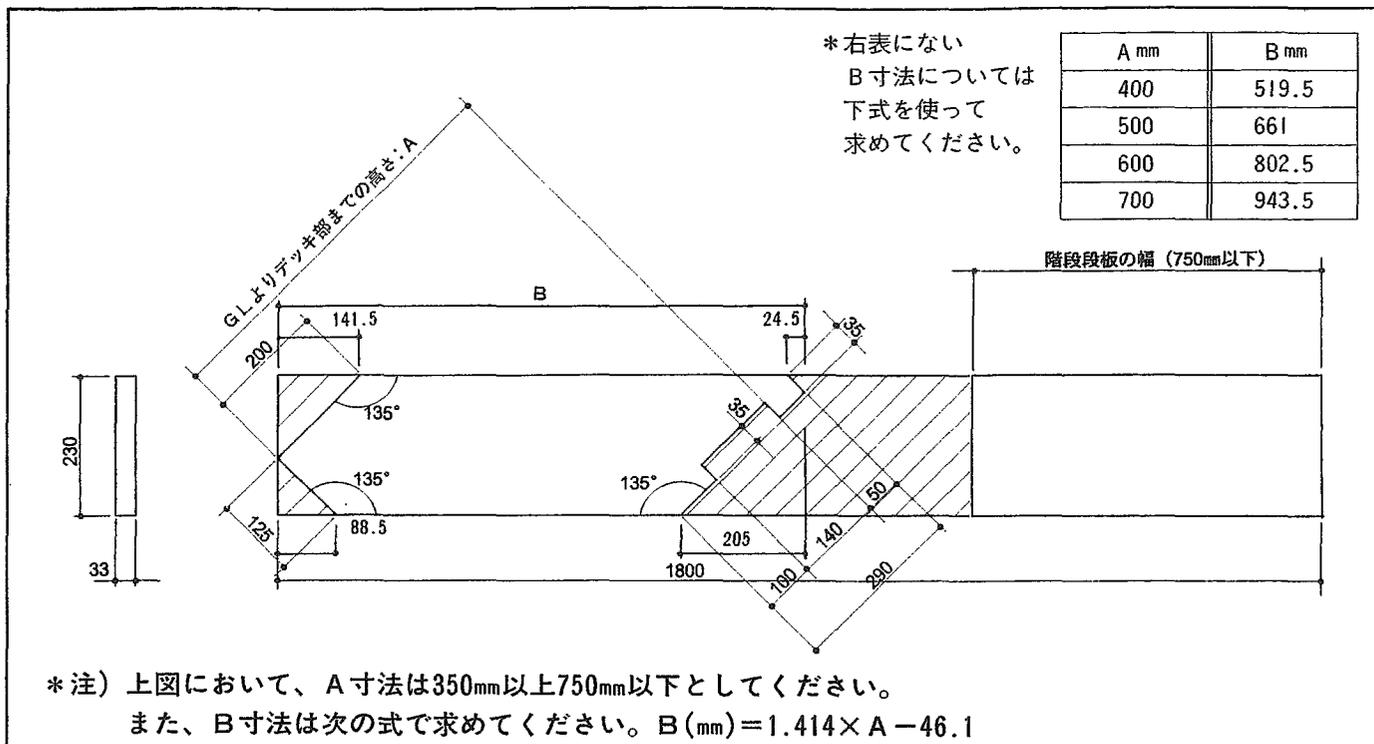
パーゴラの間隔は現場の状況に合わせて設定してください。

端部のパーゴラ材については、皿木ネジφ4.2×51で取付けてください。

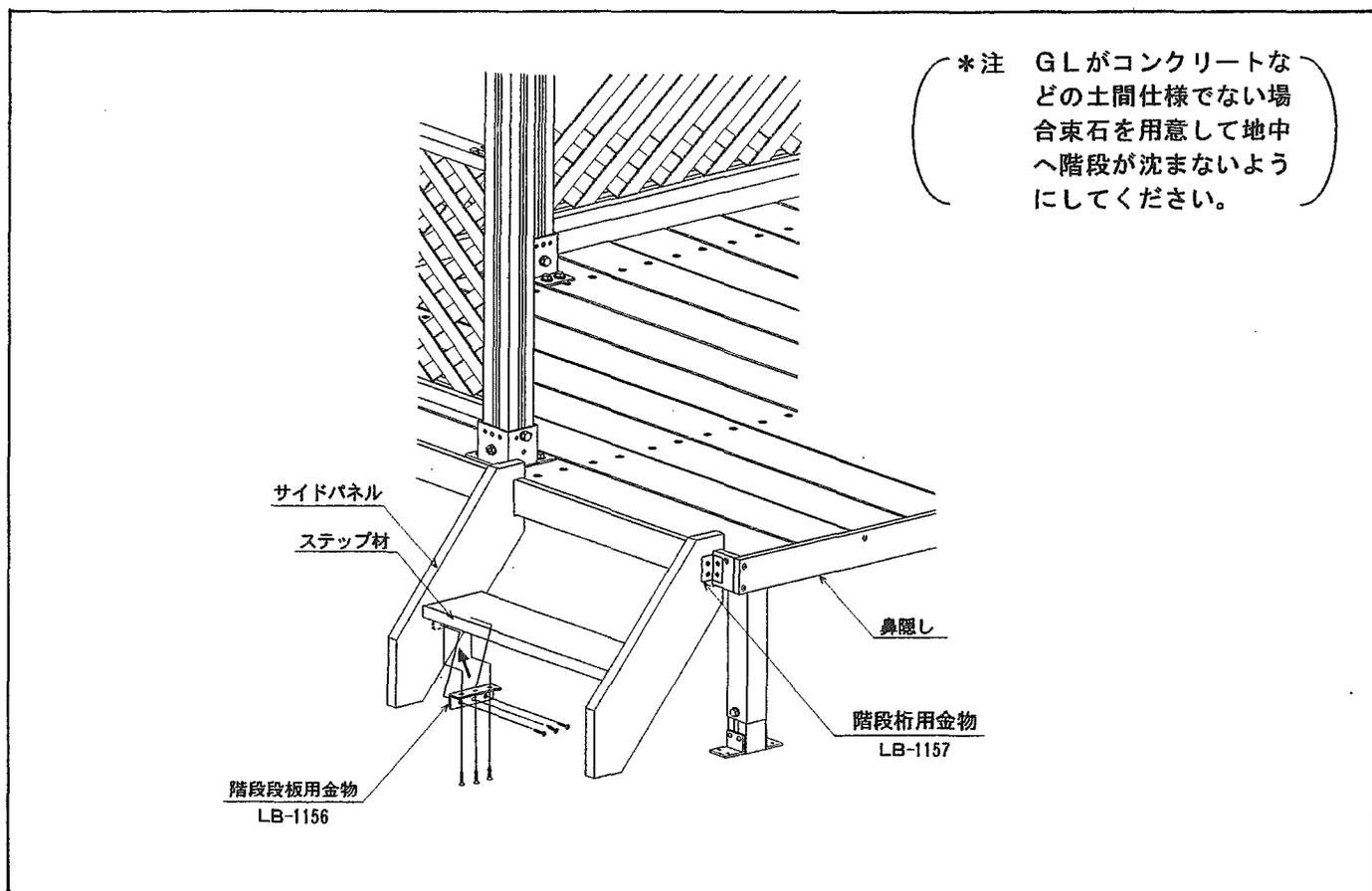


## 9 階段の組立

- 1) 階段材より作成する階段の板取りを行ってください。
  - ・ 階段のサイドパネルと段板を下図のように板取り切断してください。
  - GLよりデッキ材までの高さについては、現場にて設定してください。

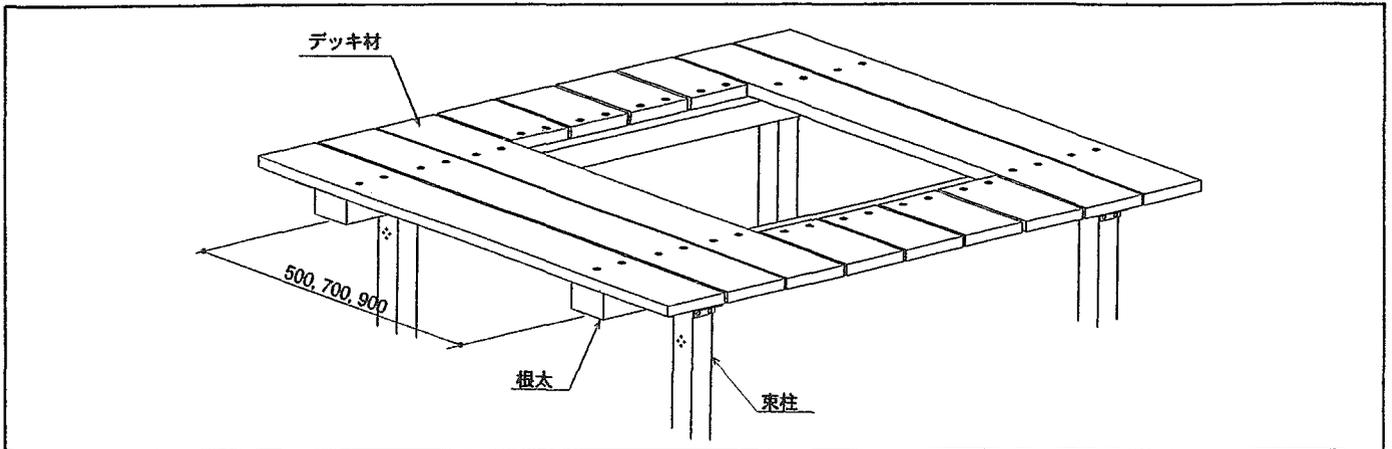


- 2) 階段部品の取付
  - 階段段板用金物・階段桁用金物を下図のように皿木ネジ  $\phi 4.2 \times 32$  にて組立てください。



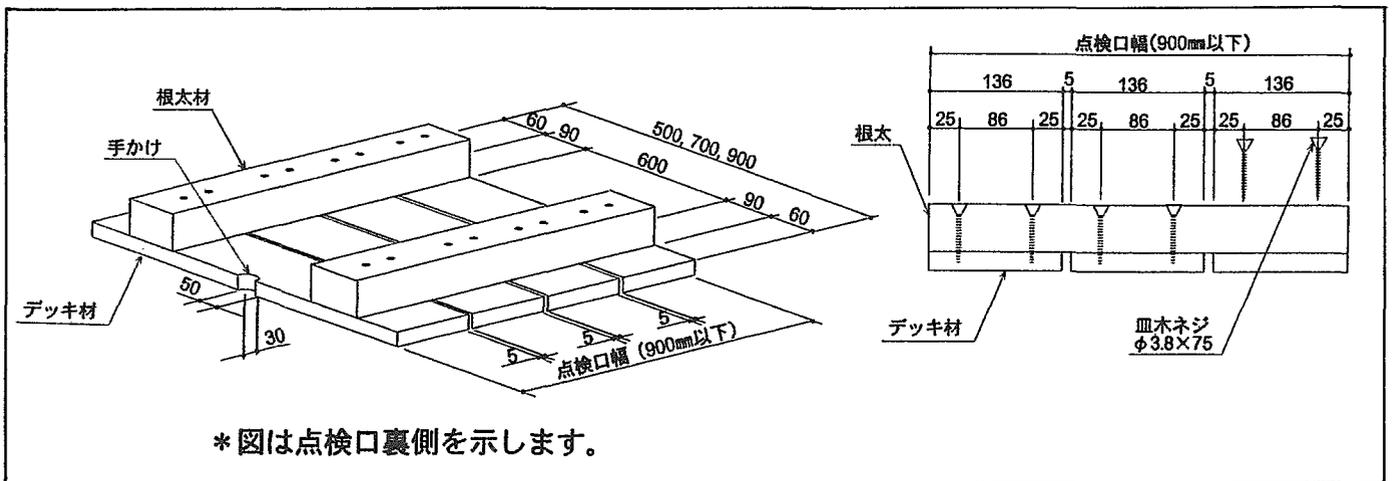
## 10 点検口の組立

- 1) 点検口を設ける部分のデッキ材を切断してください。  
点検口は、根太と根太の間だに設けるようにしてください。

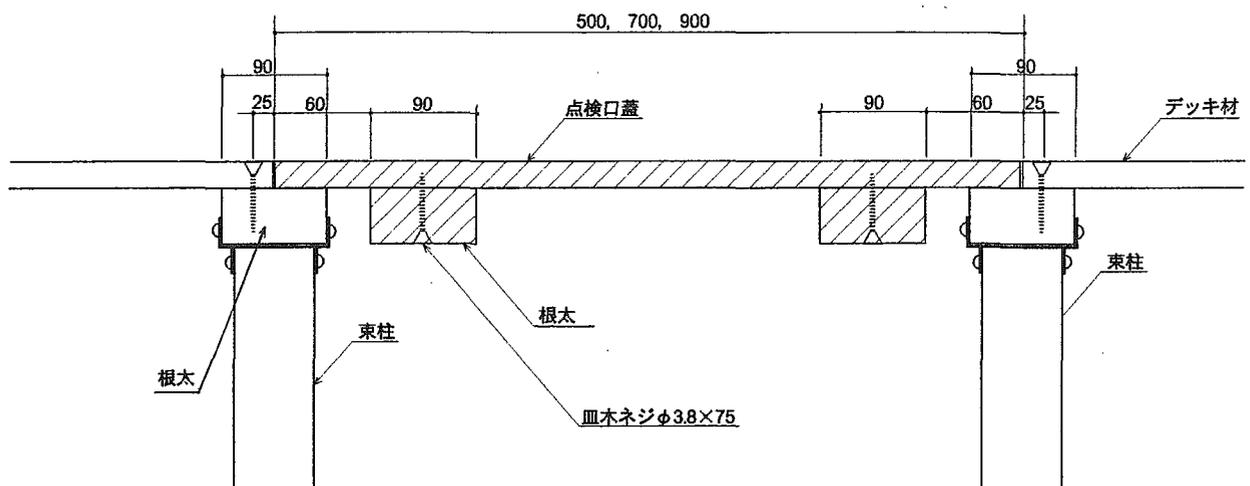


### 2) 点検口蓋の作成

デッキ材を根太幅(500,700,900)に、根太材を点検口幅に切断し皿木ネジ $\phi 3.8 \times 75$ で、下図のように組立てください。デッキ材の目地は、5mmとしてください。

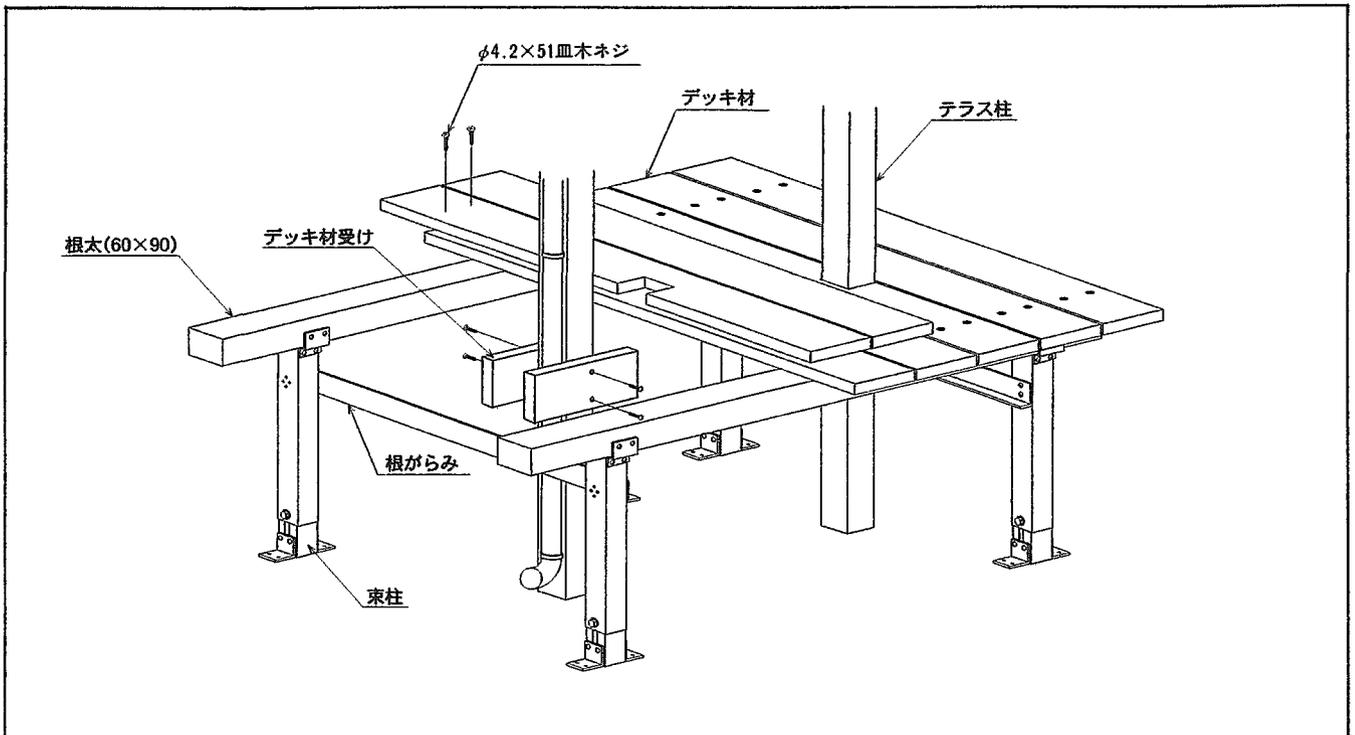


### 点検口納り図

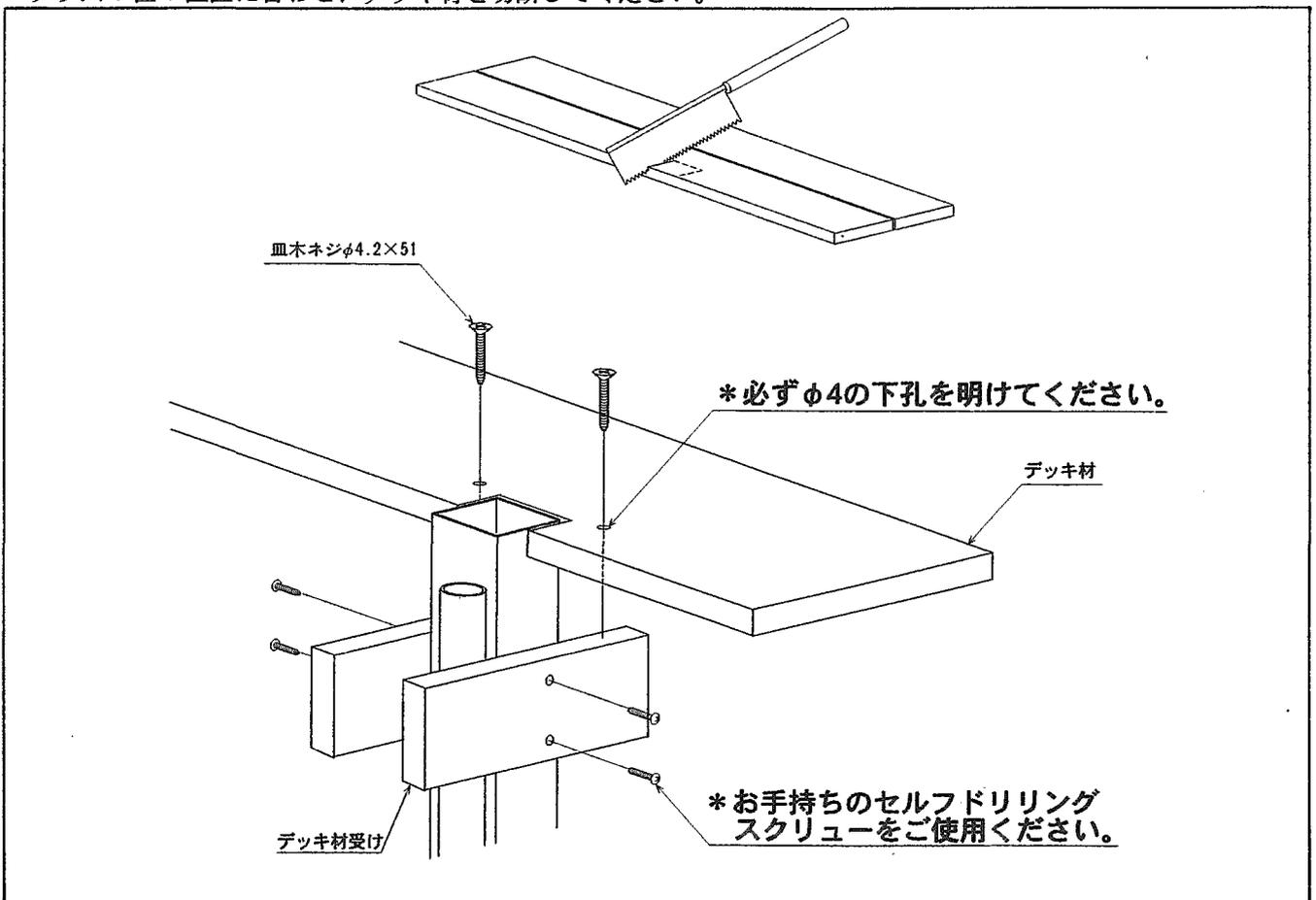


## 11 テラスとの組合せ

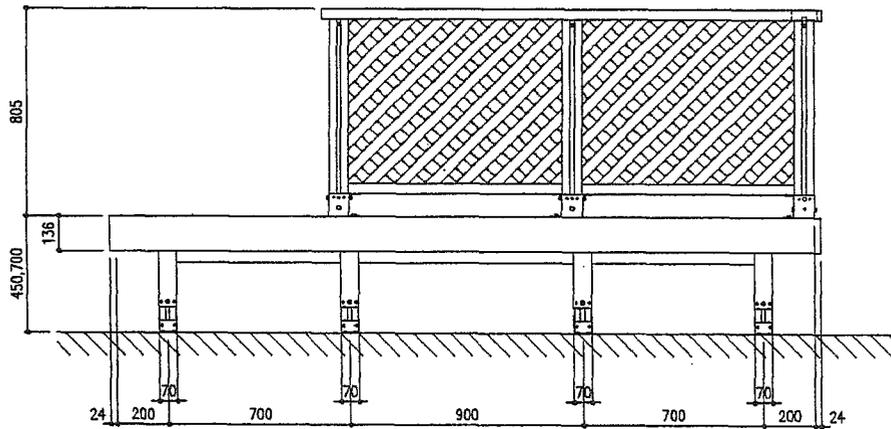
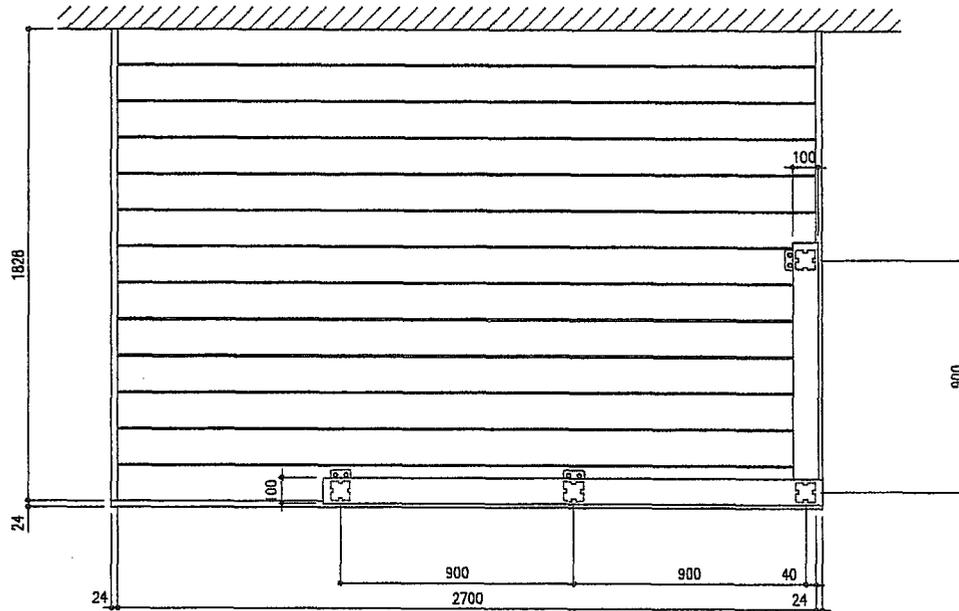
- ・デッキ材受けと根太の上面を合わせ、テラスの柱にデッキ材受けを取付けてください。  
デッキ材受けは、デッキ材を切断し、作成してください。



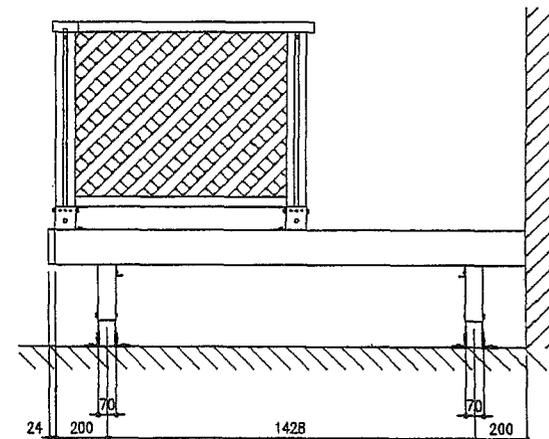
- ・テラスの柱の位置に合わせて、デッキ材を切断してください。



◆納り図 (デッキ・フェンスパネル)

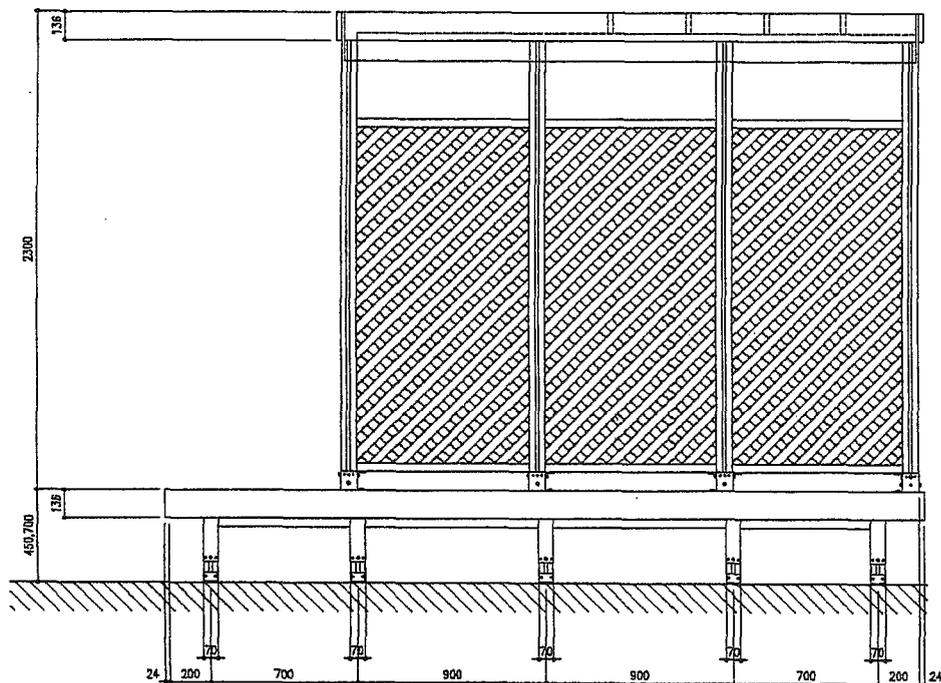
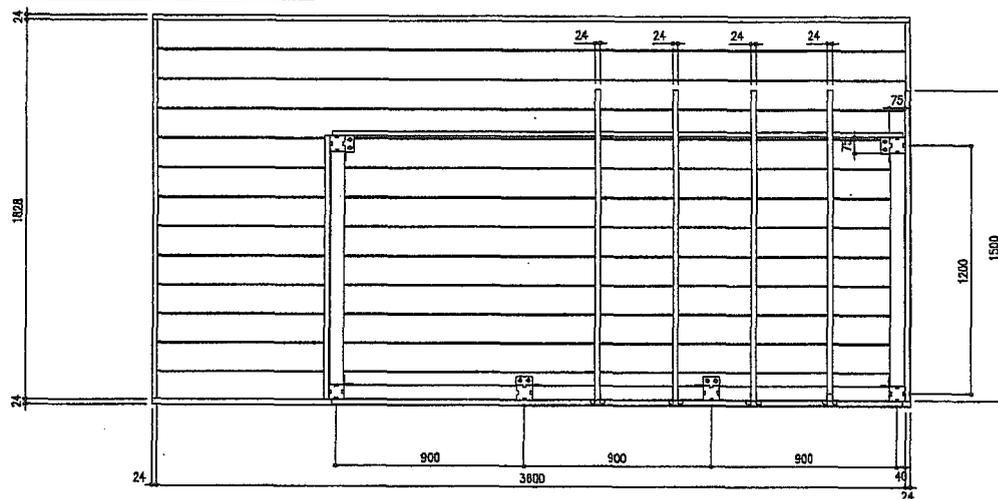


A 矢视图

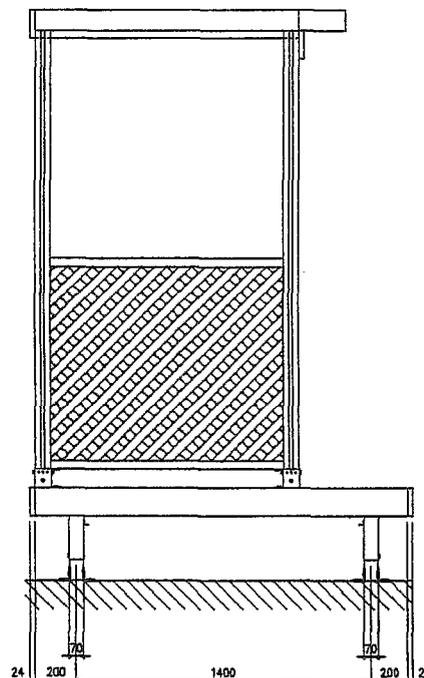


B 矢视图

◆納り図 (デッキ・パーゴラ)



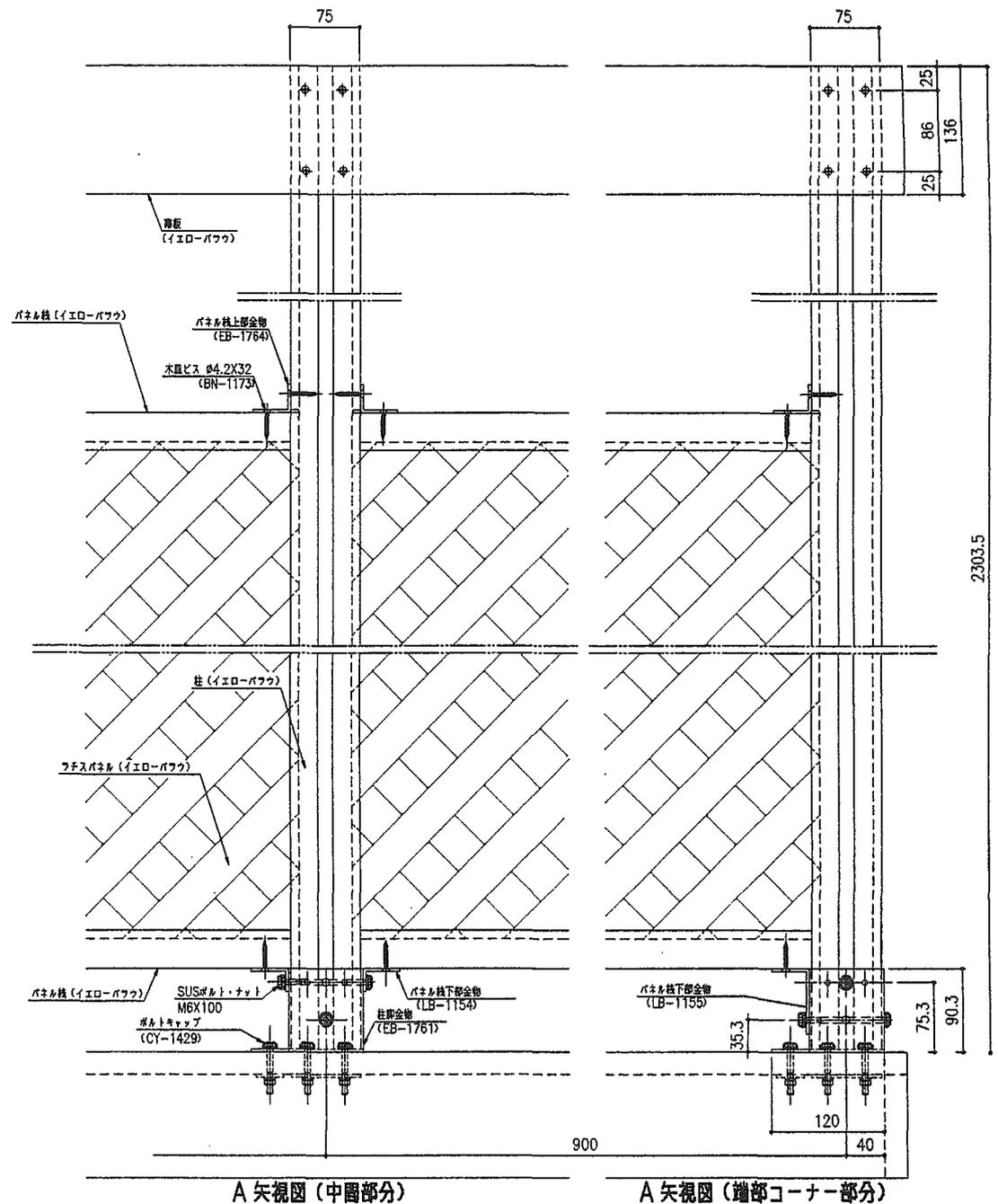
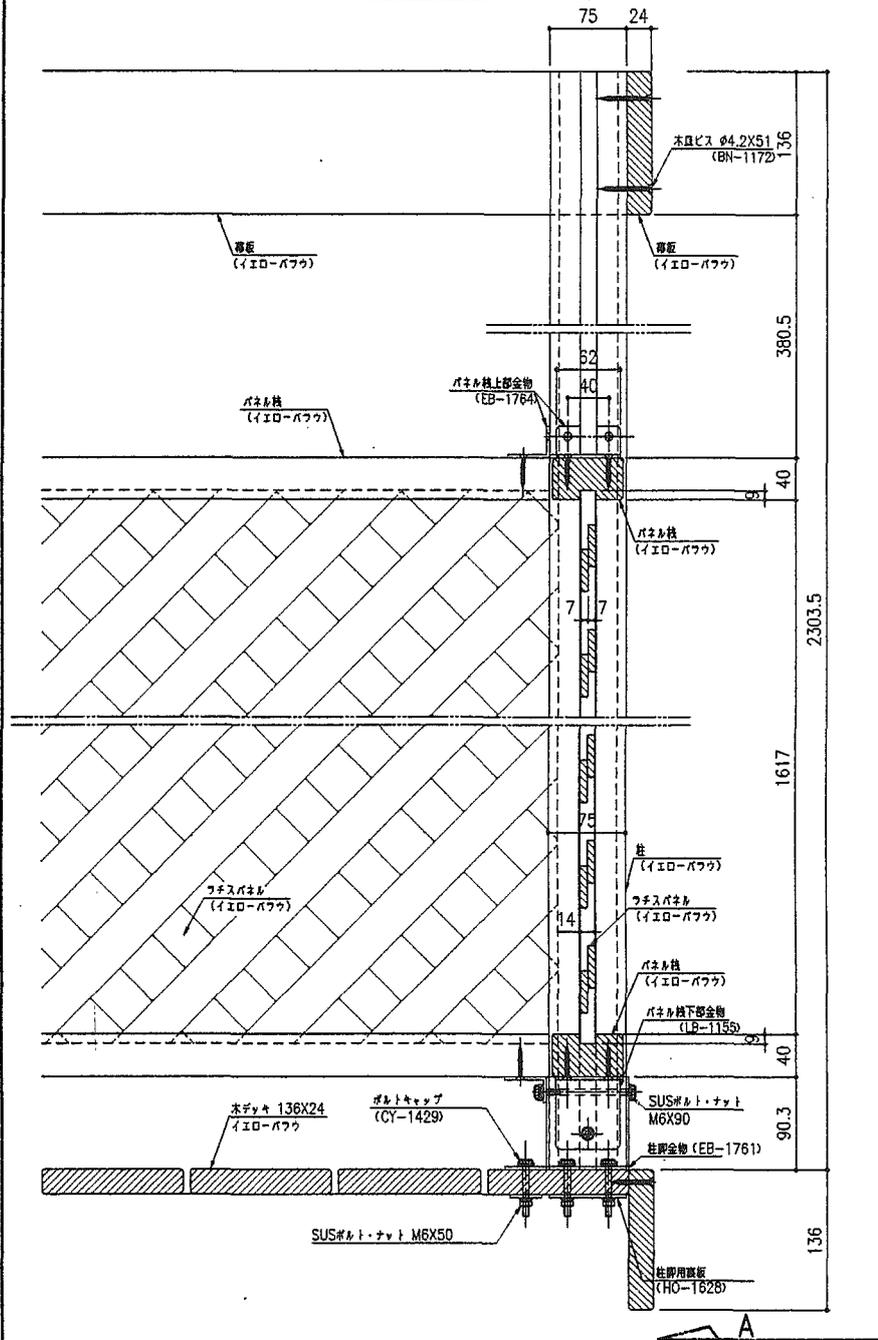
A 矢視圖



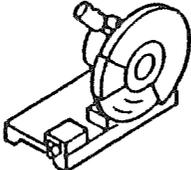
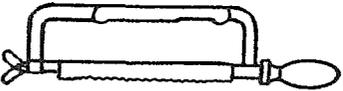
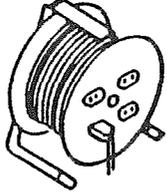
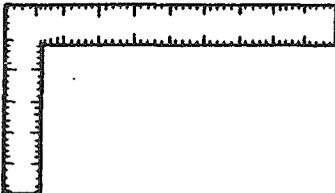
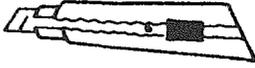
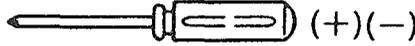
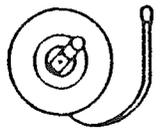
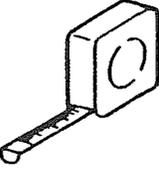
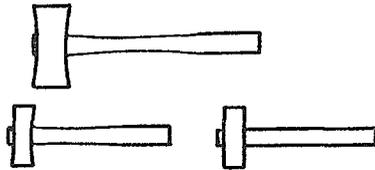
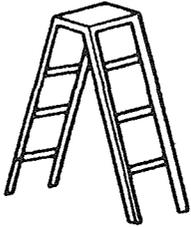
B 矢視圖



◆納り図 (ハイパーテーション)



# 工 具

サッシャー	水 準 器	金 鋸
		
電気コード	曲 尺	カッターナイフ
		
電気ドリル	ドライバー/電気ドライバー	ヤ ス リ
	 (+)(-)	 細目, 並目
巻尺(コンベックス)	ハンマー	ドリル刃
  (5m用)	 (木ハンマ)	 $\phi 3.5$ $\phi 4.5$ $\phi 9$ 木工用ドリル $\phi 3$ $\phi 4$ コンクリートドリル ( $\phi 4.5$ , $\phi 6$ , $\phi 8$ )
(赤) 墨つぼ	コーキングガン	脚 立
		
さげ振り(水糸)	消耗資材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーキング材</li> <li>・プライマー</li> <li>・セメント</li> <li>・砂、砂利、割栗石</li> <li>・溶接棒</li> <li>・マスキングテープ</li> <li>・ウエス(布きれ)</li> <li>・ビット (<math>l=110, 150</math>)</li> </ul>	左官用具 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねり函</li> <li>・こて</li> <li>・スコップ</li> <li>・バケツ</li> <li>・タガネ</li> </ul> 工具 <ul style="list-style-type: none"> <li>・のこぎり</li> </ul> 保護具 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護帽(ヘルメット)</li> <li>・保護めがね(防じん、遮光)</li> <li>・保護手袋(皮手、軍手、ゴム手)</li> <li>・安全靴</li> <li>・安全ベルト</li> </ul>

## お施主様へ

\*このページは、施工後お客様にお渡し下さい。

- 新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。末永くご使用いただくため、当説明書をお読み下さい。

## 天然木のため

(自然素材であるため、ご理解の程お願い申し上げます。)

- 強度的に差し支えない程度の節・傷・割れ等があります。
- 木目や色合い・木肌には多少のばらつきがあります。
- 経年変化によりヤセ・割れ・反り・変色が生じる場合がございますが、ご使用に影響はありません。
- 木の性質上、樹液が出ます。木製商品の樹液が雨により流れ出し、コンクリートと化学反応し床下面を汚したり、木製品本体を汚す場合があります。

## 使用上のご注意

- デッキ上は、必ず履き物を履いて利用してください。
- ラチスフェンスの笠木等、手を触れる場所はささくれ、けばだち等でケガをする可能性がありますので注意してください。定期的にチェックしていただき、ささくれが生じた時はヤスリで削って除去してください。
- デッキ上に長期間水気を含んだ物(プランター・土等)を直接置かないでください。デッキ材が腐る原因になります。
- 塗装材料は、紫外線により経年変化(色褪せ等)が生じますので、1年(状況により1年以内が好ましい場合もあります。)を目安に塗り替え(再塗装)をお勧めいたします。

## 塗り替え(再塗装)の方法

- 塗り替え作業は、工事店・塗装店にご依頼ください。ご自分で塗り替えをされる場合は、市販の木材保護塗料をお求めください。また、塗装時には充分換気に気をつけて下さい。
- 塗り替え手順
  - 1.表面に付着した泥や汚れを水洗いし、よく乾かします。
  - 2.ハケで塗装してください。(保護塗料には強力な薬品が含まれているものもありますのでスプレー塗装は避けてください。)
  - 3.2度塗りすると、色ムラが目立たなく、きれいに仕上がります。
  - 4.木は呼吸しています。ニスやペンキでの塗装はしないでください。
  - 5.作業の際には、塗料の注意事項をよく読み、厳守してください。
- 木材補修塗料には、一般的に市販されているガードラック(和信ペイント)・キシラデコール(武田薬品)・サドリン(玄々化学工業)などがございます。詳しくは、ショップ等でお尋ねください。

# ● 施工工務店様、販売店様へのお願い

— お願い —

この説明書は施工完了後、下記の欄へ必要事項を記入してお施主さまへお渡しください。

施工完了日	年 月 日
施工工務店	TEL( ) -
販売店	TEL( ) -
商品名	

この商品についてのお問い合わせ、ご相談は下記の窓口でも承っておりますので、ご遠慮なくお問い合わせください。



## 新日軽株式会社

〒108-6110 東京都港区港南2-15-2  
品川インターシティB棟10階  
お客様商品相談室  
フリーダイヤル ————— 0120(37)2534

東日本エクステリア支店 — 03(5759)2208  
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1  
ゲートシティ大崎ウェストタワー 23階

西日本エクステリア支店 — 06(380)9275  
〒564 大阪府吹田市広芝町4-34  
(江坂第一ビル1F)

住宅建材営業統括部 ———— 03(5769)8024  
特需営業統括部 ———— 03(5769)8032

● 電話番号、住所は、移転やその他の理由で変更になる場合がありますので、ご了承ください。